2019年度

名古屋音楽大学
学生募集要項

- ■ AO 入学試験
- ■ 公募推薦入学試験
- ■ 一般入学試験
- ■ 特待生選抜型実技入学試験
- ■ 二次入学試験
- □ 特待生試験

Nagoya College of Music

名古屋音楽大学を志すみなさんへ

名古屋音楽大学の建学の精神は、「共なるいのちを生きる」です。自分の個性、主体性を見失うことなく、しかも他者と共に生きるという意味です。
ＡＯ入学試験、推薦入学試験、一般入学試験、特待生選抜型実技入学試験、二次入学試験と様々な入試区分が用意されています。自分に合った入試を選択し、受験してください。
名古屋音楽大学に入学し、音楽を愛する人たちと出会うことで、それぞれの音楽を大切にしながら、一人ひとりの可能性を伸ばしてほしいと思います。

アドミッションポリシー

本学の建学の精神である「共なるいのちを生きる」は、お互いの違いを認めながら協同して生きるという意味です。「自分と異なる個性を受け入れ認め合う、他者に対して思いやりの気持ちをもつ」というのが本学の根本精神です。

- 多様な個性を認めあい、共感する心をもった学生を求めます。
- 自分の個性を大切にし、学習する意欲をもった学生を求めます。
- つねに前向きに努力し、達成する歓びを追求する学生を求めます。

名古屋音楽大学は、音楽という専門を学ぶことを通じて、響きあう心と響きあう命について深く学ぼうとする意欲にあふれる学生を求めます。

ＡＯ入学試験
本学の建学の精神を踏まえ、協調性があり音楽に対する意欲をもった学生を求めます。

推薦入学試験
本学の建学の精神を踏まえ、高等学校において積極的な学校生活を送り、音楽に対して人一倍の熱意をもって努力する学生を求めます。

一般入学試験
本学の建学の精神を踏まえ、音楽の知識と技術および専門性を追求する高い意識をもって努力する学生を求めます。

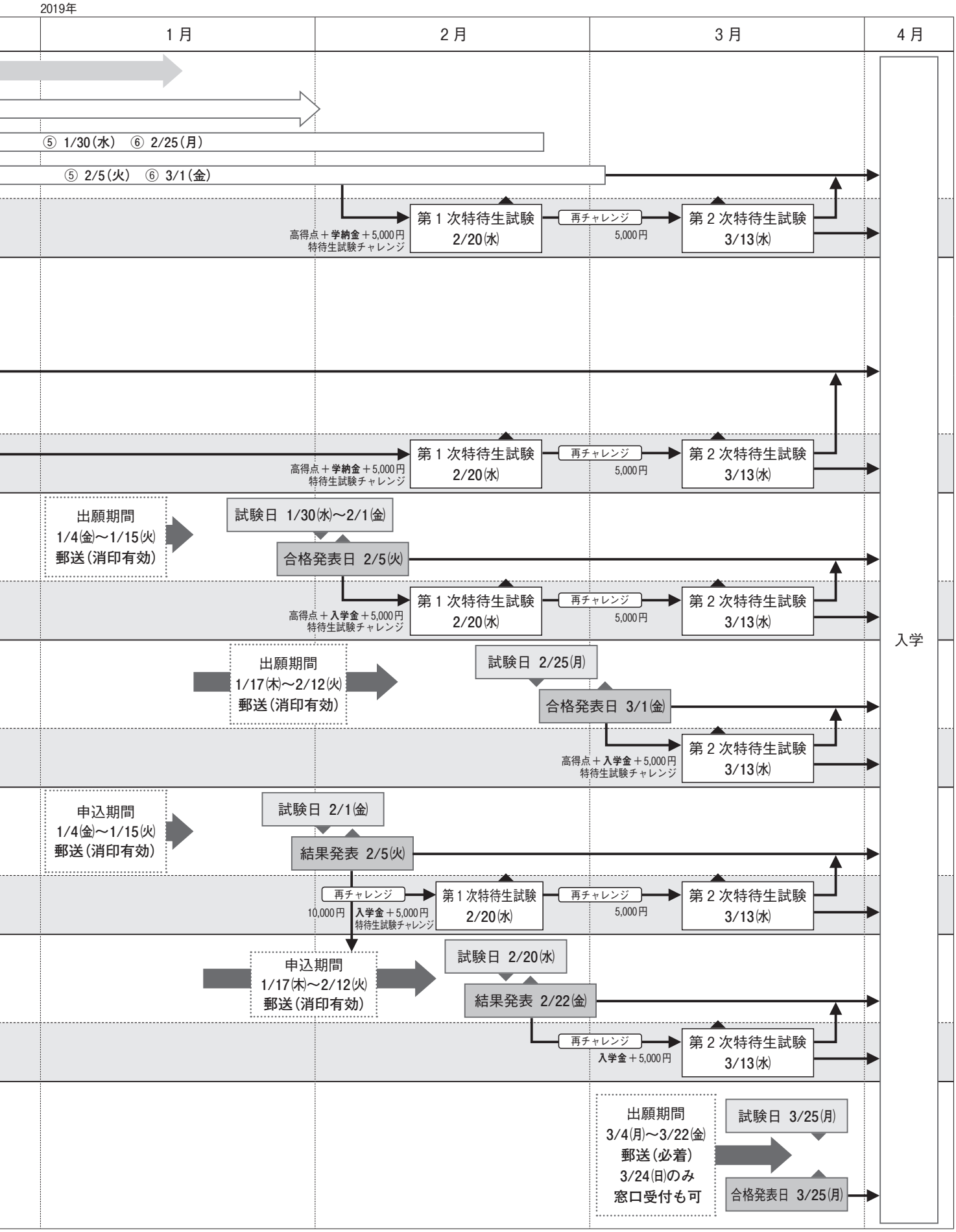
◆目　次◆

（2019年度　入学試験スケジュール）…… P.2
2019年度　入学試験要項 …… P.4
ＡＯ入学試験要項 …… P.9
公募推薦入学試験要項 ……P.16
一般入学試験要項 ……P.24
特待生選抜型実技入学試験要項 ……P.34
二次入学試験要項 ……P.36
特待生試験要項 ……P.42
（4年間継続特待生試験要項）……P.43
譜　例 ……P.44
例　題 ……P.45
記入例 ……P.52

個人情報の取扱い

① 名古屋音楽大学は、志願者の出願書類に記載された、個人情報および入学試験の成績を、入学試験業務に利用します。
② 名古屋音楽大学は、上記の個人情報を、大学入学者選抜および大学教育のための調査・研究や学術研究の資料としても利用します。調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

2019年度　入学試験スケジュール



※特待生試験は P.42を、4年間継続特待生試験は P.43をご参照ください。

2019年度　入学試験要項

◆音楽学部　募集定員

学科／定員	コース／専攻楽器
音楽学科 120名	●ピアノ演奏家コース（８名程度） ●ピアノコース ●管楽コース／フルート、オーボエ、クラリネット、バス・クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、バス・トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ ●弦楽コース／ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ ●打楽コース／マリンバ、小太鼓 ●邦楽コース／箏、三味線、尺八 ●声楽コース ●舞踊・演劇・ミュージカルコース ●作曲・音楽クリエイションコース ●電子オルガンコース ●ジャズ・ポピュラーコース／ピアノ、ドラム、ベース、ギター、サクソフォーン、トランペット、トロンボーン、ヴォーカル ●音楽教育コース ●音楽療法コース ●音楽総合コース ●音楽ビジネスコース

◆入学試験日程

入試区分／募集定員		出願期間	試験日	合格発表(発送日)	入学手続期間	
ＡＯ入試 30名		①８月27日㈪～９月５日㈬ ②９月18日㈫～９月27日㈭ ③10月29日㈪～11月７日㈬ ④11月12日㈪～11月22日㈭ ⑤12月25日㈫～１月17日㈭ ⑥１月21日㈪～２月１日㈮ **郵送(消印有効)**	９月15日㈯ 10月６日㈯ 11月18日㈰ 12月１日㈯ １月30日㈬ ２月25日㈪	９月21日㈮ 10月12日㈮ 11月26日㈪ 12月７日㈮ ２月５日㈫ ３月１日㈮	９月25日㈫～10月12日㈮ 10月15日㈪～11月２日㈮ 11月27日㈫～12月７日㈮ 12月10日㈪～１月４日㈮ ２月６日㈬～２月25日㈪ ３月４日㈪～３月13日㈬	
推薦入試 40名	指定校※	2018年 10月３日㈬～11月５日㈪ **郵送(消印有効)**	2018年 11月18日㈰	2018年 11月26日㈪	2018年 11月27日㈫～12月７日㈮	
	公　募 (専願型)				一次・一括納入	二次納入
	公　募 (併願型)				2018年 11月27日㈫ ～12月７日㈮	2018年 12月10日㈪ ～2019年 ３月25日㈪
一般入試 （Ａ日程） 30名		2019年 １月４日㈮～１月15日㈫ **郵送(消印有効)**	2019年 １月30日㈬ ～２月１日㈮	2019年 ２月５日㈫	一次・一括納入	二次納入
					2019年 ２月６日㈬ ～２月14日㈭	2019年 ２月15日㈮ ～３月25日㈪
特待生選抜型 実技入試 10名	Ⅰ期	2019年 １月４日㈮～１月15日㈫ **郵送(消印有効)**	2019年 ２月１日㈮	2019年 ２月５日㈫	一次・一括納入	二次納入
					2019年 ２月６日㈬ ～２月14日㈭	2019年 ２月15日㈮ ～３月25日㈪
	Ⅱ期	2019年 １月17日㈭～２月12日㈫ **郵送(消印有効)**	2019年 ２月20日㈬	2019年 ２月22日㈮	一次・一括納入	二次納入
					2019年 ２月25日㈪ ～３月15日㈮	2019年 ３月18日㈪ ～３月25日㈪
一般入試 （Ｂ日程） 10名		2019年 １月17日㈭～２月12日㈫ **郵送(消印有効)**	2019年 ２月25日㈪	2019年 ３月１日㈮	一次・一括納入	二次納入
					2019年 ３月４日㈪ ～３月13日㈬	2019年 ３月14日㈭ ～３月25日㈪
二次入試 若干名		2019年 ３月４日㈪～３月22日㈮ **郵送(必着)**　３月24日㈰のみ 窓口受付(10:00～16:00)	2019年 ３月25日㈪	2019年 ３月25日㈪	2019年 ３月26日㈫～３月28日㈭	

※指定校推薦入試については、当該高等学校長宛に「指定校推薦入学試験要項」を送付致します。

◆出願書類

出願書類		AO	公募推薦	一般	特待生選抜型	二次
①入学試験志願票	本学所定用紙（裏面に「⑧振込証明書」を貼付してください。）	●	●	●	●	●
②推薦書	本学所定用紙（学校長が作成し厳封したもの。）	—	●	—	—	—
③受験票	本学所定用紙	●	●	●	●	●
④受験曲目記入票	本学所定用紙（一旦提出された曲目は変更できません。） **受験曲目は必ず控え（コピー）をとっておいてください。**	●	●	●	●	●
⑤出身学校調査書＊	出身学校所定の用紙で、出願３ヶ月以内に学校長が作成し厳封したもの。	●	●	●	●	●
⑥写真（２枚）	正面上半身、脱帽、背景なしで出願３ヶ月以内に撮影したもの（縦４㎝×横３㎝）を**入学試験志願票・受験票**の所定欄に貼付してください。	●	●	●	●	●
⑦受験票返信用封筒	本学所定のものに自分の住所・氏名等を明記し、362円分の切手を貼付してください。	●	●	●	●	●
⑧振込証明書	入学試験志願票の裏面に貼付してください。	●	●	●	●	●
⑨声楽・歌唱実技 管楽実技 ピアノ伴奏譜	提出楽譜は１ページを**Ａ４版（縦30㎝×横21㎝）の大きさの台紙に貼って**、各ページが全開するよう横一連に綴じてください。手書きの楽譜の場合は黒のペンまたはボールペンで正確に書いてください。※下記の図を参照してください。	・声楽・歌唱実技を受験する者 ・特待生選抜型実技入試（管楽）で伴奏を希望する者				
⑩作曲・音楽クリエイション実技提出作品	Ａ：自作品の楽譜（コピー可）を同封すること。 Ｂ：制作した楽曲をオーディオ CD で提出のこと。	作曲・音楽クリエイションコースを受験する者				
⑪ヤマハ音楽能力検定制度エレクトーン演奏グレード５級合格証書（コピー）	△電子オルガンコースの受験者のうち取得者のみ。（実技試験の免除を希望する場合のみ。）	△	△	△	—	△
⑫ジャズ・ポピュラーコース音源	CD で用意すること。 △マイナスワン音源（CD）を使用して受験する者。	△	△	△	△	△

＊高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者）は、⑤出身学校調査書に代わるものとして、高等学校卒業程度認定試験合格証明書（大学入学資格検定合格証明書）および合格成績証明書を提出してください。免除科目がある場合は、高等学校等の調査書または成績証明書も提出してください。

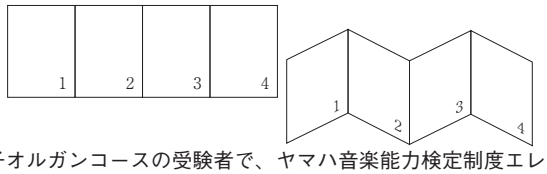
〈注意事項〉

○入試区分ごとに●印の書類を全て整えて送付してください。

○声楽又は歌唱で受験する者は⑨を、作曲・音楽クリエイションコースを受験する者は⑩を必ず同封してください。

※⑨ピアノ伴奏譜

全開した状態 ──→ たたむ



○電子オルガンコースの受験者で、ヤマハ音楽能力検定制度エレクトーン演奏グレード５級取得者は⑪を同封してください。
実技試験が免除されます。（ただし、実技試験が免除された者は、特待生試験の受験対象外となります。）

○ジャズ・ポピュラーコースでマイナスワン音源（CD）を使用して受験する者は⑫を同封してください。

○実技試験がある者は志望コース欄に実技名を記入してください。（ただし、ピアノコース、声楽コース、電子オルガンコースは除く。）

○本学音楽講習会の「認定テスト」の認定を受けている者は**入学試験志願票**の「認定テスト」の欄に必要な情報を記入してください。
＊「認定テスト」の認定を受けた者でも、当該科目の試験を希望することができます。詳しくはP.24を参照ください。

○出願書類に不正な記入をした場合は、入学許可後であっても合格の認定を取り消すことがあります。

○提出された書類は、いかなる理由においても返却いたしません。

◆入学試験検定料

試験区分	検定料
ＡＯ入試／指定校推薦入試／公募推薦入試	20,000円
一般入試（ピアノ演奏家コース以外）／特待生選抜型実技入試／二次入試（ピアノ演奏家コース以外）	35,000円
一般入試（ピアノ演奏家コース）／二次入試（ピアノ演奏家コース）	40,000円

・銀行振込のみ。本学所定振込用紙を使用し、取扱銀行窓口で取扱銀行収納印欄に押印してもらった上で、「振込証明書」を入学試験志願票の裏面に貼付してください。
・一旦納入された検定料は、いかなる理由においても返還いたしません。
・公募推薦（併願型）受験者はその合否に関わらず、一般入学試験（特待生選抜型実技入試・二次入試を含む）検定料のうち、２万円を免除します。

出願方法

書留速達郵便で送付してください。本学窓口での受付は一切行いません。（二次入試最終締切日を除く）

(1) 出願書類に記入漏れ、貼付漏れ等の不備があると受付けできない場合があります。
(2) 出願後の志望コース・試験曲目等の変更は一切認めません。
(3) 受験票は、出願締切日から１週間以内に試験日程表を同封の上、速達郵便にて一斉返送します。
試験日３日前までに受験票が届かない場合は、本学入試・広報センターまでお申し出ください。

心身に障がいがある方の出願について

心身（精神・視覚・聴覚・肢体等）に障がいのある方、又は病弱の方は、入試および入学後の学習等に大きな関わりがありますので、出願前に本学入試・広報センターまで必ずご連絡ください。
障がい者・病弱の方で入学試験受験において特別の処置を希望する方は出願時にその旨文書（書式自由）で申し出てください。（健康診断書・障害者手帳等の写しを提出して頂く場合があります。）
※これにより入学試験の合否に関係することは一切ありません。

●入学試験会場

本学キャンパス　〒453-8540
名古屋市中村区稲葉地町７－１
名古屋音楽大学

※学生募集要項の裏（地図）を参照してください。

受験に関する注意事項

①受験票、筆記用具は試験期間中必ず持参してください。
②指定科目を１つでも受験しなかった場合は全試験棄権したものとみなし、残りの科目を受験することができません。
③昼食は各自で用意してください。
④駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
⑤遅刻者の受験は原則として認めません。
※試験当日、事故等が発生した場合は、速やかに本学入試･広報センター（TEL 052-411-1545）まで電話連絡してください。
⑥受験票の裏面に「受験上の心得」が記載してあります。試験当日までに必ずよく読んでおいてください。
⑦試験期間中、受験生以外は試験会場への立ち入りはできません。保護者の方は控え室にてお待ち願います。

練習室、楽器の貸し出し

試験期間中、学内の練習室を無料で貸し出します。試験日当日に窓口にて申し込んでください。
なお、遠隔地からの受験生（試験日前日からの宿泊者）に限り、試験日前日にも貸し出しを行いますので、希望者は事前に入試・広報センターまでお申し出ください。
ピアノ、電子オルガン、テューバ、コントラバス、ハープ、マリンバ、箏、ドラムは本学のものが使用できます。
その他の楽器は各自持参してください。テューバ、コントラバスの受験生は、志願票・受験票等の楽器貸与欄に、楽器の貸与を「希望する・希望しない」のどちらかに○を付けてください。

合格発表

「公募推薦入試」においては、本人ならびに高等学校長宛に合否通知書を郵送します。
その他の入学試験においては、本人宛に郵送します。電話による問い合わせには一切応じません。

学費について

標準学納金

〈音楽教育コース・音楽療法コース・音楽総合コース〉

	入学金	授業料	教育充実費	合計
入学手続時納付金	200,000円	500,000円	250,000円	950,000円
入学年次秋学期納付金		500,000円	250,000円	750,000円
初年度総合計	200,000円	1,000,000円	500,000円	1,700,000円

1メジャー（主専攻）・1サブマイナー（副科実技）を履修の上限とする。

〈音楽ビジネスコースのみ〉

	入学金	授業料	教育充実費	合計
入学手続時納付金	200,000円	425,000円	250,000円	875,000円
入学年次秋学期納付金		425,000円	250,000円	675,000円
初年度総合計	200,000円	850,000円	500,000円	1,550,000円

1メジャー（主専攻）を履修の上限とする。

〈上記以外のコース〉

	入学金	授業料	教育充実費	合計
入学手続時納付金	200,000円	650,000円	250,000円	1,100,000円
入学年次秋学期納付金		650,000円	250,000円	900,000円
初年度総合計	200,000円	1,300,000円	500,000円	2,000,000円

1メジャー（主専攻）・1マイナー（副専攻）・1サブマイナー（副科実技）を履修の上限とする。

※マイナー・サブマイナーの追加履修について

マイナー（副専攻）・サブマイナー（副科実技）を追加履修する場合には標準学納金に加えて下記の料金が必要となります。（入学後の選択履修となります）

1マイナー（副専攻）追加　　年額 300,000円　（半期 150,000円）

1サブマイナー（副科実技）追加　年額 150,000円　（半期　75,000円）

【入学手続時納付金】

●その他納付金として、雅亮会（保護者後援会）入会金10,000円（入学時のみ）、雅亮会会費1年次分10,000円があります。

●入学手続きをされた後、2019年3月29日（金）13時までに入学辞退の申し出があった場合、入学金を除く納付金を返還いたします。

●入学後に、教育研究条件整備充実協力金（一口10万円）の募集（任意）があります。

【入学年次秋学期納付金】

●入学年次秋学期から、学納金負担者の軽減を図るため、納付金の延期・分納等の取扱いをすることができます。

●2年目以降の年額納付額は、音楽教育コース・音楽療法コース・音楽総合コース1,500,000円、音楽ビジネスコース1,350,000円、それ以外のコースは1,800,000円となります。

【その他】

●教職課程履修者は、3年次に定められた課程費を納付していただきます。（2018年度は、18,000円程度）

なお、中学校教諭免許状取得を希望する学生は、介護等体験が義務付けられ、体験費用として8,000円が必要となります。

入学時特待生制度（特待生試験）

入学試験の成績に基づいて選考される特待生制度です。

※特待生試験については、P.42に詳しく記載してありますので参照してください。

特待生制度

入学時特待生制度（特待生試験）とは別に、在学中の成績に基づいて選考される特待生制度があります。

学業成績が特に優秀で、健全なる学生生活を営む学生に対し、当該学期または年度の授業料相当額の全額、半額、または4分の1の額が奨学金として支給されます。1年次秋学期（Ⅱ期）から対象となります。

奨学金制度

公益財団法人　山田貞夫音楽財団　奨学金（2017年度実績）
　給付月額　30,000円（年額 360,000円）
東本願寺奨学金（真宗大谷派学校連合会加盟校対象）
　給付年額　200,000円を上限とする。（10名以内）
日本学生支援機構（旧：日本育英会）奨学金（貸与）

第一種（無利子貸与）／貸与月額 ●2018年度入学者より、右記のとおり、貸与月額が新設されました。	自宅通学者	最高月額　54,000円 40,000円、20,000円
	自宅外通学者	最高月額　64,000円 50,000円、40,000円、20,000円
	自宅・自宅外通学者共通	30,000円
第二種（有利子貸与）／貸与月額 ●2018年度より、下線の付いた月額が新設されました。※	20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、60,000円、70,000円、80,000円、90,000円、100,000円、110,000円、120,000円	

※入学特別増額貸与として入学年月を始期として奨学金の貸与を受ける人は、希望により10万円、20万円、30万円、40万円、50万円の５種類の中から選択した額を初回振込時に限り増額して貸与を受けられます。
※奨学金制度の詳細は、本学事務部（TEL 052-411-1129）にお尋ねください。

国の教育ローン（日本政策金融公庫）

政府系金融機関である日本政策金融公庫が取扱っている制度で、教育一般貸付・郵貯貸付・年金教育貸付といったものがあります。
詳細は、日本政策金融公庫のホームページ（http://www.jfc.go.jp/k/kyouiku/index.html）にてご確認ください。

銀行等金融機関の教育ローン

本学は、四つの金融機関、「株式会社セディナ」、「株式会社オリエントコーポレーション」、「株式会社ジャックス」、「楽天銀行」と提携して、学費サポート制度を設けております。
詳細は本学ホームページにてご確認ください。
※こちらの制度は、貸付制度です。確実な返済計画を立てた上でお申込み願います。

ＡＯ入学試験要項

ＡＯ入試では、試験日程が全６回あるため、自分のタイミングで受験をすることができます。

出願方法

本学専願者で、学習に高い意欲をもち、本学所定のエントリーカードを提出し、所定の期間内に実施する面談を受けた者で、次のいずれかに該当する者。

(1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者、及び2019年３月卒業見込みの者。
(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び2019年３月修了見込みの者。
(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校または中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2019年３月31日までにこれに該当する見込みの者。

推薦入試とＡＯ入試について

●指定校推薦入試…本学専願者で本学が指定する高等学校を卒業見込みの者で、出身高等学校長の推薦する者。
●公募推薦入試【専願型】…本学専願者で、高等学校卒業後２年以内、出身高等学校長の推薦する者。
●ＡＯ入試…本学専願者で、音楽指導者・本学卒業生等の推薦する者。

※エントリー期間中、本出願までに学校長の推薦を受けた場合には、学校推薦を優先するものとします。

◆出願期間・最終選考(試験日)・合格発表　◆エントリーから合格まで

ステップ１ エントリー期間	2018年８／１(水)～2019年１／７(月)　消印有効　エントリーに際しての提出書類のみ、郵送・持参も可。					
	〈～８/６(月)〉	〈～９/３(月)〉	〈～10/５(金)〉	〈～10/26(金)〉	〈～12/７(金)〉	〈～１/７(月)〉
	※〈　〉内は、ステップ３以降の日程で受験するための目安の期日です。					
ステップ２ 面談期間	2018年８／４(土)～2019年１／15(火)					
	第１回	第２回	第３回	第４回	第５回	第６回
ステップ３ 第１次選考発表	8/25(土)	9/15(土)	10/27(土)	11/10(土)	12/22(土)	1/19(土)
	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩
ステップ４ 出願期間(消印有効)	8/27(月)～ 9/5(水)	9/18(火)～ 9/27(木)	10/29(月)～ 11/7(水)	11/12(月)～ 11/22(木)	12/25(火)～ 1/17(木)	1/21(月)～ 2/1(金)
	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩
ステップ５ 最終選考(試験日)	9/15(土)	10/6(土)	11/18(日)	12/1(土)	1/30(水)	2/25(月)
	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩
ステップ６ 合格発表(発送)	9/21(金)	10/12(金)	11/26(月)	12/7(金)	2/5(火)	3/1(金)
	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩
ステップ７ 入学手続期間	9/25(火)～ 10/12(金)	10/15(月)～ 11/2(金)	11/27(火)～ 12/7(金)	12/10(月)～ 1/4(金)	2/6(水)～ 2/25(月)	3/4(月)～ 3/13(水)

特典（入学前セミナー）　11月、12月、2月（最大3回）実施

合格者は所定の手続き後、入学時まで、本学教員による実技レッスンや音楽理論、ソルフェージュを定期的に無料で受講できる特典があります。詳細は合格後にお知らせします。

選考方法

面談および書類審査により第一次選考を行います。第一次選考を合格し、出願した者には、最終選考を行います。最終選考は、最終面接及び実技試験（音楽教育及び音楽療法コース志願者は小論文、音楽ビジネスコースは作文）とし、その総合評価により判定します。
※遠隔地の受験希望者に限り、ステップ２（面談期間）において、実技レッスンの相談に応じます。

エントリーに際しての提出書類

提　出　書　類	
エントリーカード（黄色）	本学所定用紙
ＡＯ志望理由書（黄色）	本学所定用紙（エントリーカードの裏面）
ＡＯ推薦書（黄色）	本学所定用紙

※封筒は市販のものをご利用ください。

面談および書類審査について（第一次選考）

①出願までに、１～２回程度の面談を行います。
②書類審査は、「エントリーカード・ＡＯ志望理由書」、「ＡＯ推薦書」に基づいて行います。

出願について（最終選考）

出願期間内に、入学検定料を納入するとともに出願書類を提出してください。

◆最終選考試験内容

コ　ー　ス	実　技	作文･小論文	面　接	掲載ページ
ピアノ	●		●	P.11
管楽	●		●	
弦楽	●		●	P.12
打楽	●		●	
邦楽	●		●	P.13
声楽	●		●	
舞踊・演劇・ミュージカル	●		●	
作曲・音楽クリエイション	●		●	P.14
電子オルガン	●		●	
ジャズ・ポピュラー	●		●	P.15
音楽教育		●	●	
音楽療法		●	●	
音楽総合	●		●	
音楽ビジネス		●	●	

各コース別 ＡＯ入学試験 実技試験課題

すべての実技試験において演奏を途中で切る場合があります。

ピアノコース

①実技

※いずれも暗譜で演奏のこと。繰り返しはしない。

【課題曲Ⅰ】 下記の曲（1）～（8）より任意の１曲を各自が選択し、演奏する。

番号	曲　　目	作　曲　者
(1)	50番練習曲　Op.740	Czerny
(2)	60番練習曲　Op.365	Czerny
(3)	60　Etudes	Cramer=Bülow
(4)	Gradus ad Parnassum（Tausig 編）	Clementi
(5)	24　Studies for the piano　Op.70	Moscheles
(6)	15　Etudes　Op.72	Moszkowski
(7)	12　Etudes　Op.10	Chopin
(8)	12　Etudes　Op.25	Chopin

※(7) Op.10 №6　(8) Op.25 №7 を除く。

【課題曲Ⅱ】 任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。
※上記課題曲Ⅰの（1）～（8）は除く。自作曲は除く。

②面接

管楽コース

①実技

任意の独奏曲または練習曲１曲を演奏する。
※伴奏はなし。楽譜は見てもよい。

■フルート
■オーボエ
■クラリネット
■バス・クラリネット
■ファゴット
■サクソフォーン（ソプラノ、テナー、バリトンも可）
■ホルン
■トランペット
■トロンボーン
■バス・トロンボーン
■ユーフォニアム
■テューバ

②面接

弦楽コース

①実技

※伴奏はなし。

■ヴァイオリン　※いずれも暗譜で演奏のこと。

(1) C. Flesh：Scale System より C dur No.5を冒頭から 9 小節まで演奏する。
- テンポ♩.＝69前後で演奏すること。
- ボウイングとフィンガリングは譜面どおり。
- Carl Fischer 版もしくは Ries & Erler / Berlin 版を使用すること。

(2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。
- エチュード、自作曲は除く。

■ヴィオラ　※楽譜は見てもよい。

(1) 音階：譜例 (P.44) のとおり音階を演奏する。
- 任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲 1 曲を演奏する。

■チェロ　※楽譜は見てもよい。

(1) 音階：譜例 (P.44) のとおり音階を演奏する。
- 任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲 1 曲を演奏する。

■コントラバス　※楽譜は見てもよい。

(1) 音階：譜例 (P.44) に従い、ホ長調、ヘ長調、ト長調より当日、本学が指定する音階を 1 つ演奏する。
- 譜例のリズム型で演奏し、2 オクターブ演奏すること。任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲 1 曲を演奏する。

■ハープ　※いずれも暗譜で演奏のこと。繰り返しはしないこと。

(1) N.Ch. Bochsa の練習曲より任意の 1 曲を演奏する。
- Alphonse Leduc 社出版の楽譜を用いること。

(2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

②面接

打楽コース

①実技

※伴奏はなし。

■マリンバ　※いずれも暗譜で演奏のこと。

(1) Morris Goldenberg：Modern School for Xylophone. Marimba. Vibraphone（チャペル版）Ⅰ、Ⅻ、Ⅻ、ⅩⅦ、ⅩⅩⅡより任意の 1 曲を各自が選択し、演奏する。

(2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

■小太鼓　※楽譜は見てもよい。

(1) 1 つ打ち、2 つ打ち、5 つ打ち、7 つ打ち、9 つ打ちより、当日、本学が指定する。

(2) 任意の独奏曲または練習曲 1 曲を演奏する。

②面接

邦楽コース

①実技

■箏　　西山検校「秋の言葉」を暗譜で演奏する。
　　但し基音はＣ＝１　Ｄ＝１どちらでも可とする。

■三味線（長唄三味線）
　　初代　杵屋六翁「松の緑」（前弾き）を暗譜で演奏する。

■尺　八　　一尺八寸管（Ｄ管）を使用のこと。流派は問わない。※楽譜は見てもよい。
(1) 諸井誠「竹籟五章」より第一章（芬陀）を冒頭のみ演奏する。（譜例 P.44参照）
(2) 吉沢検校「千鳥の曲」前弾合奏部を演奏する。
(3) 任意の独奏曲を２分程度で演奏する。

②面接

声楽コース

①実技

任意の声楽曲１曲を演奏する。
※暗譜で歌うこと。
(1) 原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。（例：歌劇「連隊の娘」をイタリア語で歌うなど）
(2) アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。（例：歌劇「セヴィリアの理髪師」から「今の歌声は」をヘ長調で歌うなど）
（注）**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

②面接

舞踊・演劇・ミュージカルコース

①実技

次のいずれか１つを選び、受験すること。

■ジャズダンス　３分程度の自由曲を踊る。
(1) 音楽（CD）は各自で用意すること。
(2) 服装：レオタード、タイツ、ダンスシューズを着用のこと。

■バレエ　　クラシックバレエからヴァリエーション（３分程度）を踊る。
(1) 音楽（CD）は各自で用意すること。
(2) 服装：レオタード、タイツ、バレエシューズを着用のこと。

■コンテンポラリィダンス（現代舞踊）
５～６分程度の自由曲を踊る。
テーマ：「私の夢」
(1) 音楽（CD）は各自で用意すること。
(2) 服装：レオタード、タイツを着用のこと。

■日本舞踊　　当日、試験官の指示に従い、５分程度踊る。
・服装：浴衣、半巾帯、足袋を着用のこと。

■演　技　　５分以内の自由演技を行う。（例：パントマイム、任意の台本等を読む、その他自由演技）
・服装：自由。

■歌　唱　　３分程度の自由曲１曲を演奏する。※暗譜で歌うこと。
（歌曲、オペラまたはオラトリオのアリア、オペレッタ、ミュージカルのソロ曲、その他）
（注）**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

②面接

作曲・音楽クリエイションコース

下記のAまたはBより選択して受験する。

A

①実技

(1) 編成の違う自作品の楽譜（コピー可）を2曲提出する。

・出願書類に同封のこと。
・提出された楽譜は返却しない。

(2) 口頭試問

②面接

B

①実技

(1) 出願時にコンピュータまたはシンセサイザー等により本人が制作した楽曲をオーディオCDで提出する。

・出願書類に同封のこと。
・曲はオリジナル、編曲いずれでもよい。
・曲の長さは7分以内とする。
・提出作品には受験者の氏名、曲名を、編曲の場合は原曲の曲名、作曲者名も明記すること。

(2) 口頭試問

②面接

電子オルガンコース

①実技

ヤマハエレクトーン演奏グレード5級以上の楽曲、または、自作・自編の楽曲を1曲演奏する。

※暗譜で演奏のこと。

参考曲集例　新エレクトーン・レパートリー5級 Vol.1 ～ Vol.3

・試験場での使用機種は、YAMAHA ELS-02C，ELS-02X（バイタライズ），EL-900m，Roland AT-80S。
・レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないので、あらかじめUSBフラッシュメモリー、フロッピーディスクなどで用意すること。
・MDRの使用範囲は、演奏データを含まないものとする。

ヤマハ音楽能力検定制度　エレクトーン演奏グレード5級取得者は実技試験が免除されます。

※上記のグレード5級取得者は出願時に**合格証書のコピー**（P.5の⑪参照）を同封してください。（実技試験の免除を希望する場合のみ）
・実技試験が免除された者は、特待生試験の受験対象外となります。

②面接

ジャズ・ポピュラーコース

①実技

■ピアノ
■ドラム
■ベース（アコースティック・エレクトリックを問わない）
■ギター（アコースティック・エレクトリックを問わない）
■サクソフォーン（ソプラノ・アルト・テナー・バリトンを問わない）
■トランペット
■トロンボーン
下記の(1)または(2)を選択し、演奏する。
(1) 任意の1曲をマイナスワン音源を使用し演奏する。
・マイナスワン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。
(2) Moritat（Bertolt Brecht / Kurt Weill）を演奏する。
・楽譜および音源は、本学に請求してください。
請求先：名古屋音楽大学　入試・広報センター（フリーダイヤル0120-115-796）
■ヴォーカル
任意の1曲を演奏する。
・演奏形態は次から選び、曲目記入欄に記すこと。【マイナスワン音源（CD）、アカペラ、弾き歌い】
・マイナスワン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

②面接

音楽教育コース

①小論文

1000字程度（P.51例題参照）。
試験時間は90分。

②面接

音楽療法コース

①小論文

1000字程度（P.51例題参照）。
試験時間は90分。

②面接

音楽総合コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。
・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。
・伴奏者同伴の必要はなし。
・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②面接

音楽ビジネスコース

①作文

800字程度（P.51例題参照）。
試験時間は90分。

②面接

公募推薦入学試験要項（専願型）

公募推薦入学試験では、推薦基準を満たしていれば専願・併願を自由に選択し受験することができます。

◆出願資格（推薦基準）

(1) 本学専願者。
(2) 評定平均値が3.0以上（５段階評価）である者。
　※高校３年間の全教科評定平均値。
(3) 2019年３月高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者、及び2017年３月以降高等学校または中等教育学校を卒業した者。
(4) 音楽的な感覚と理解力に優れ、かつ基礎的な技能を修得している者。
(5) 積極的な学生生活を送れる者。
(6) 以上の点について在学あるいは出身高等学校長の推薦する者、または学校教育法施行規則第150条に該当し学校長の推薦する者。

◆出願期間・試験日・合格発表

出　願　期　間	2018年10月３日(水)～11月５日(月)	郵送のみ･消印有効
試　　験　　日	2018年11月18日(日)	
合　格　発　表	2018年11月26日(月)	高等学校長･本人宛発送

◆選考方法

出身学校調査書、ならびに下記の試験科目に基づき、その総合評価により合格者の選考を行います。

◆試験科目内容

コ　ー　ス	試験科目			掲載ページ
	実　技	作　文	面　接	
ピアノ	●		●	P.18
管楽	●		●	
弦楽	●		●	
打楽	●		●	P.19
邦楽	●		●	
声楽	●		●	P.20
舞踊・演劇・ミュージカル	●		●	
作曲・音楽クリエイション	●		●	P.21
電子オルガン	●		●	
ジャズ・ポピュラー	●		●	P.22
音楽教育	●	●	●	
音楽療法	●	●	●	
音楽総合	●		●	P.23
音楽ビジネス		●	●	

特典（入学前セミナー）　12月、2月実施

合格者は所定の手続き後、入学時まで、本学教員による実技レッスン（12月のみ）や音楽理論、ソルフェージュを定期的に無料で受講できる特典があります。詳細は合格後にお知らせします。

公募推薦入学試験要項（併願型）

公募推薦入学試験では、推薦基準を満たしていれば専願・併願を自由に選択し受験することができます。

◆出願資格（推薦基準）

(1) 評定平均値が3.0以上（５段階評価）である者。
　※高校３年間の全教科評定平均値。
(2) 2019年３月高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者、及び2017年３月以降高等学校または中等教育学校を卒業した者。
(3) 音楽的な感覚と理解力に優れ、かつ基礎的な技能を修得している者。
(4) 積極的な学生生活を送れる者。
(5) 以上の点について在学あるいは出身高等学校長の推薦する者、または学校教育法施行規則第150条に該当し学校長の推薦する者。

◆出願期間・試験日・合格発表

出　願　期　間	2018年10月３日(水)～11月５日(月)	郵送のみ・消印有効
試　　験　　日	2018年11月18日(日)	
合　格　発　表	2018年11月26日(月)	高等学校長・本人宛発送

◆選考方法

出身学校調査書、ならびに下記の試験科目に基づき、その総合評価により合格者の選考を行います。

◆試験科目内容

併願型の試験科目は、「音楽理論」と「ソルフェージュ（聴音書取）」が必須（音楽ビジネスコースを除く）となりますのでご注意ください。

コース	試験科目					掲載ページ
	実技	作文	面接	音楽理論	ソルフェージュ（聴音書取）	
ピアノ	●		●	●	●	P.18
管楽	●		●	●	●	
弦楽	●		●	●	●	
打楽	●		●	●	●	P.19
邦楽	●		●	●	●	
声楽	●		●	●	●	P.20
舞踊・演劇・ミュージカル	●		●	●	●	
作曲・音楽クリエイション	●		●	●	●	P.21
電子オルガン	●		●	●	●	
ジャズ・ポピュラー	●		●	●	●	P.22
音楽教育	●	●	●	●	●	
音楽療法	●	●	●	●	●	
音楽総合	●		●	●	●	P.23
音楽ビジネス		●	●			

特典（入学前セミナー）　12月、2月実施　※学納金全額支払い済みの方のみ

合格者は所定の手続き後、入学時まで、本学教員による実技レッスン（12月のみ）や音楽理論、ソルフェージュを定期的に無料で受講できる特典があります。詳細は合格後にお知らせします。

各コース別推薦入学試験 実技試験課題

すべての実技試験において演奏を途中で切る場合があります。

ピアノコース

①実技

※いずれも暗譜で演奏のこと。繰り返しはしない。

【課題曲Ⅰ】 下記の曲（1）～（8）より任意の１曲を各自が選択し、演奏する。

番号	曲　　目	作　曲　者
(1)	50番練習曲　Op.740	Czerny
(2)	60番練習曲　Op.365	Czerny
(3)	60　Etudes	Cramer=Bülow
(4)	Gradus ad Parnassum（Tausig 編）	Clementi
(5)	24　Studies for the piano　Op.70	Moscheles
(6)	15　Etudes　Op.72	Moszkowski
(7)	12　Etudes　Op.10	Chopin
(8)	12　Etudes　Op.25	Chopin

※(7) Op.10 №6　(8) Op.25 №7 を除く。

【課題曲Ⅱ】 任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。
※上記課題曲Ⅰの（1）～（8）は除く。自作曲は除く。

②面接

管楽コース

①実技

任意の独奏曲または練習曲１曲を演奏する。
※伴奏はなし。楽譜は見てもよい。

■フルート
■オーボエ
■クラリネット
■バス・クラリネット
■ファゴット
■サクソフォーン（ソプラノ、テナー、バリトンも可）
■ホルン
■トランペット
■トロンボーン
■バス・トロンボーン
■ユーフォニアム
■テューバ

②面接

弦楽コース

①実技

※伴奏はなし。

■ヴァイオリン　※いずれも暗譜で演奏のこと。

(1) C. Flesh：Scale System より C dur No.5を冒頭から９小節まで演奏する。
・テンポ♩＝69前後で演奏すること。
・ボウイングとフィンガリングは譜面どおり。
・Carl Fischer 版もしくは Ries & Erler / Berlin 版を使用すること。

(2) 任意の独奏曲１曲を演奏する。
・エチュード、自作曲は除く。

■ヴィオラ　※楽譜は見てもよい。

(1) 音階：譜例（P.44）のとおり音階を演奏する。
・任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲１曲を演奏する。

■チェロ　※楽譜は見てもよい。

(1) 音階：譜例（P.44）のとおり音階を演奏する。
・任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲１曲を演奏する。

■コントラバス　※楽譜は見てもよい。

(1) 音階：譜例(P.44)に従い、ホ長調、ヘ長調、ト長調より当日、本学が指定する音階を１つ演奏する。
・譜例のリズム型で演奏し、２オクターブ演奏すること。任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲１曲を演奏する。

■ハープ　※いずれも暗譜で演奏のこと。繰り返しはしないこと。

(1) N.Ch. Bochsa の練習曲より任意の１曲を演奏する。
・Alphonse Leduc 社出版の楽譜を用いること。

(2) 任意の独奏曲１曲を演奏する。

②面接

打楽コース

①実技

※伴奏はなし。

■マリンバ　※いずれも暗譜で演奏のこと。

(1) Morris Goldenberg：Modern School for Xylophone. Marimba. Vibraphone（チャペル版）Ⅰ、Ⅻ、ⅩⅢ、ⅩⅦ、ⅩⅩⅡより任意の１曲を各自が選択し、演奏する。

(2) 任意の独奏曲１曲を演奏する。

■小太鼓　※楽譜は見てもよい。

(1) １つ打ち、２つ打ち、５つ打ち、７つ打ち、９つ打ちより、当日、本学が指定する。

(2) 任意の独奏曲または練習曲１曲を演奏する。

②面接

邦楽コース

①実技

■箏　西山検校「秋の言葉」を暗譜で演奏する。
但し基音はＣ＝１　Ｄ＝１どちらでも可とする。

■三味線（長唄三味線）
初代　杵屋六翁「松の緑」（前弾き）を暗譜で演奏する。

■尺　八　一尺八寸管（Ｄ管）を使用のこと。流派は問わない。※楽譜は見てもよい。

(1) 諸井誠「竹籟五章」より第一章（芬陀）を冒頭のみ演奏する。（譜例 P.44参照）

(2) 吉沢検校「千鳥の曲」前弾合奏部を演奏する。

(3) 任意の独奏曲を２分程度で演奏する。

②面接

声楽コース

①実技

任意の声楽曲１曲を演奏する。
※暗譜で歌うこと。
(1) 原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。(例：歌劇「連隊の娘」をイタリア語で歌うなど)
(2) アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。(例：歌劇「セヴィリアの理髪師」から「今の歌声は」をヘ長調で歌うなど)
（注）**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

②面接

舞踊・演劇・ミュージカルコース

①実技

次のいずれか１つを選び、受験すること。

■ジャズダンス　３分程度の自由曲を踊る。
(1) 音楽（CD）は各自で用意すること。
(2) 服装：レオタード、タイツ、ダンスシューズを着用のこと。

■バレエ　クラシックバレエからヴァリエーション（３分程度）を踊る。
(1) 音楽（CD）は各自で用意すること。
(2) 服装：レオタード、タイツ、バレエシューズを着用のこと。

■コンテンポラリィダンス（現代舞踊）
５～６分程度の自由曲を踊る。
テーマ：「私の夢」
(1) 音楽（CD）は各自で用意すること。
(2) 服装：レオタード、タイツを着用のこと。

■日本舞踊　当日、試験官の指示に従い、５分程度踊る。
・服装：浴衣、半巾帯、足袋を着用のこと。

■演　技　５分以内の自由演技を行う。(例：パントマイム、任意の台本等を読む、その他自由演技)
・服装：自由。

■歌　唱　３分程度の自由曲１曲を演奏する。※暗譜で歌うこと。
(歌曲、オペラまたはオラトリオのアリア、オペレッタ、ミュージカルのソロ曲、その他)
（注）**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

②面接

作曲・音楽クリエイションコース

下記のＡまたはＢより選択して受験する。

A

①実技

(1) 編成の違う自作品の楽譜（コピー可）を２曲提出する。

・出願書類に同封のこと。
・提出された楽譜は返却しない。

(2) 口頭試問

②面接

B

①実技

(1) 出願時にコンピュータまたはシンセサイザー等により本人が制作した楽曲をオーディオ CD で提出する。

・出願書類に同封のこと。
・曲はオリジナル、編曲いずれでもよい。
・曲の長さは７分以内とする。
・提出作品には受験者の氏名、曲名を、編曲の場合は原曲の曲名、作曲者名も明記すること。

(2) 口頭試問

②面接

電子オルガンコース

①実技

ヤマハエレクトーン演奏グレード５級以上の楽曲、または、自作・自編の楽曲を１曲演奏する。

※暗譜で演奏のこと。

参考曲集例　新エレクトーン・レパートリー５級 Vol.1 ～ Vol.3

・試験場での使用機種は、YAMAHA ELS-02C，ELS-02X（バイタライズ），EL-900m，Roland AT-80S。
・レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないので、あらかじめ USB フラッシュメモリー、フロッピーディスクなどで用意すること。
・MDR の使用範囲は、演奏データを含まないものとする。

ヤマハ音楽能力検定制度　エレクトーン演奏グレード５級取得者は実技試験が免除されます。

※上記のグレード５級取得者は、出願時に**合格証書のコピー**（P.5の⑪参照）を同封してください。（実技試験の免除を希望する場合のみ）
※実技試験が免除された者は、特待生試験の受験対象外となります。

②面接

ジャズ・ポピュラーコース

①実技

■ピアノ
■ドラム
■ベース（アコースティック・エレクトリックを問わない）
■ギター（アコースティック・エレクトリックを問わない）
■サクソフォーン（ソプラノ・アルト・テナー・バリトンを問わない）
■トランペット
■トロンボーン

下記の(1)または(2)を選択し、演奏する。

(1) 任意の1曲をマイナスワン音源を使用し演奏する。

・マイナスワン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

(2) Moritat（Bertolt Brecht / Kurt Weill）を演奏する。

※楽譜および音源は、本学に請求してください。
請求先：名古屋音楽大学　入試・広報センター（フリーダイヤル0120-115-796）

■ヴォーカル

任意の1曲を演奏する。

・演奏形態は次から選び、曲目記入欄に記すこと。【マイナスワン音源（CD）、アカペラ、弾き歌い】
・マイナスワン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

②面接

音楽教育コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。
・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。
・伴奏者同伴の必要はなし。
・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②作文

800字程度（P.51例題参照）。
試験時間は90分。

③面接

音楽療法コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。
・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。
・伴奏者同伴の必要はなし。
・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②作文

1,000字程度（P.51例題参照）。
試験時間は90分。

③面接

音楽総合コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲１曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。
・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。
・伴奏者同伴の必要はなし。
・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②面接

音楽ビジネスコース

①作文

800字程度（P.51例題参照）。
試験時間は90分。

②面接

一般入学試験要項

一般入試では、受験者の得意な科目を活かせる受験方式 (a・b・c・d) を自由に選べるようになっています（ピアノ演奏家コース除く）。コースによって若干の違いがあるため、コース毎の表を見て選んでください。

◆出願資格

(1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者、及び2019年３月卒業見込みの者。
(2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者、及び2019年３月修了見込みの者。
(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2019年３月31日までにこれに該当する見込みの者。

◆出願期間・試験期間・合格発表

A日程	出願期間	2019年１月４日（金）～１月15日（火）	郵送のみ・消印有効
	試験期間	2019年１月30日（水）～２月１日（金）	
	合格発表	2019年２月５日（火）	本人宛発送
B日程	出願期間	2019年１月17日（木）～２月12日（火）	郵送のみ・消印有効
	試験期間	2019年２月25日（月）	
	合格発表	2019年３月１日（金）	本人宛発送

Ａ日程、Ｂ日程どちらの日程でも受験できます。

※Ａ日程を受験する者で併せてＢ日程の受験を希望する者は、**入学試験志願票**の「受験日程」欄の「Ａ日程」と「Ｂ日程」両方を「○」で囲んでください。これによりＡ日程を受験し不合格だった場合に、Ｂ日程の受験資格が与えられます。（なお、Ａ日程受験者のＢ日程入学試験検定料は免除します。）
※ピアノ演奏家コースはＡ日程のみ。

コースの志望について

いずれのコースを第１志望とする場合でも、他のいずれかのコースを第２志望とすることができます（ピアノ演奏家コースのみ、第２志望は自動的にピアノコースとなります）。
その際、第１志望、第２志望のそれぞれの志望コースに課せられた試験科目をどちらも受験してください（ピアノ演奏家コースを除く）。

選考方法

実技試験、音楽理論、ソルフェージュ、面接に基づき、その総合評価により合格者の選考を行います。

	ソルフェージュ	音楽理論
ピアノ演奏家コース	新曲視唱 聴音書取…四声体、単旋律、二声旋律 （P.45例題参照）	主として楽典一般 （P.46～47例題参照）
ピアノコース 作曲・音楽クリエイションコース（Ａ）	新曲視唱…調性は♯、♭、２つまで ※唱法は自由。 聴音書取…旋律２題、和声１題 調性は♯、♭、２つまで （P.48例題参照）	主として楽典一般 （P.49～50例題参照）
上記以外のコース	新曲視唱…調性は♯、♭、２つまで ※唱法は自由。 聴音書取…旋律２題 調性は♯、♭、２つまで （P.48例題参照）	主として楽典一般 （P.49～50例題参照）

【音楽理論とソルフェージュの受験について】
本学音楽講習会で「認定テスト（音楽理論、ソルフェージュ）」を受験し、認定の評価を受けている者は免除を希望することができます（ピアノ演奏家コースを除く）。一般入試での受験をしない場合、それぞれの科目について、「認定テスト」の評価（Ａ・Ｂ・Ｃ）に応じて、Ａ＝80点、Ｂ＝60点、Ｃ＝40点が配点されます。
なお、「認定テスト」の認定をすでに受けており、一般入試での受験を希望する場合は、それぞれの科目について、より高い方の得点が配点されます。

各コース別一般入学試験 実技試験課題

すべての実技試験において演奏を途中で切る場合があります。

ピアノ演奏家コース（一般入試Ａ日程、二次入試のみ実施。他コースのような試験方式の選択はありません。）

①実技　※Ａ、Ｂ、Ｃ全てを暗譜で演奏のこと。曲順は自由。

Ａ　F. Chopin：Etudes op.10, op.25より任意の２曲。
Ｂ　古典派のソナタ（複数楽章も可）
Ｃ　自由曲（古典派以外の作品、ショパンのエチュードは含まない）
　※Ｂ、Ｃの合計時間が14分以上であること。

②音楽理論※

③ソルフェージュ※

※ P.24 選考方法参照

④面接

ピアノコース

試験科目＼試験方式※1	a	c
①専　攻　実　技	300	500
②音　楽　理　論	100	—
③ソルフェージュ	100	—
④面　　接	—	Ａ・Ｂ・Ｃ評価
総　合　点	500	500

※１　試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～④のうち受験する科目・配点は異なる。

①実技

※すべて暗譜で演奏のこと。繰り返しはしない。
【課題曲Ⅰ】　下記の曲（1）～（8）より任意の１曲を各自が選択し、演奏する。

番号	曲　　目	作　曲　者
(1)	50番練習曲　Op.740	Czerny
(2)	60番練習曲　Op.365	Czerny
(3)	60　Etudes	Cramer=Bülow
(4)	Gradus ad Parnassum（Tausig 編）	Clementi
(5)	24　Studies for the piano　Op.70	Moscheles
(6)	15　Etudes　Op.72	Moszkowski
(7)	12　Etudes　Op.10	Chopin
(8)	12　Etudes　Op.25	Chopin

※(7) Op.10 №.6　(8) Op.25 №.7 を除く。

【課題曲Ⅱ】　任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。
※上記課題曲Ⅰの（1）～（8）は除く。自作曲は除く。

管楽コース

試験科目＼試験方式※1	a	b	c	d
①専　攻　実　技	300	200	500	300
②副　科　実　技※2	—	100	—	200
③音　楽　理　論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面　　接	—	—	Ａ・Ｂ・Ｃ評価	Ａ・Ｂ・Ｃ評価
総　合　点	500	500	500	500

※１　試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
※２　副科実技はピアノとする。

①実技

任意の独奏曲または練習曲１曲を演奏する。
※伴奏はなし。楽譜は見てもよい。

■フルート
■オーボエ
■クラリネット
■バス・クラリネット
■ファゴット
■サクソフォーン（ソプラノ、テナー、バリトンも可）
■ホルン
■トランペット
■トロンボーン
■バス・トロンボーン
■ユーフォニアム
■テューバ

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

弦楽コース

試験科目＼試験方式※1	a	b	c	d
①専　攻　実　技	300	200	500	300
②副　科　実　技※2	—	100	—	200
③音　楽　理　論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面　　接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総　合　点	500	500	500	500

※１　試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
※２　副科実技はピアノとする。

①実技

※伴奏はなし。

■ヴァイオリン　※いずれも暗譜で演奏のこと。
(1) C. Flesh：Scale System より C dur No.5を冒頭から９小節まで演奏する。
・テンポ♩.＝69前後で演奏すること。
・ボウイングとフィンガリングは譜面どおり。
・Carl Fischer 版もしくは Ries & Erler / Berlin 版を使用すること。
(2) 任意の独奏曲１曲を演奏する。
・エチュード、自作曲は除く。

■ヴィオラ　※楽譜は見てもよい。
(1) 音階：譜例（P.44）のとおり音階を演奏する。
・任意の速度で演奏すること。
(2) 任意の独奏曲、または練習曲１曲を演奏する。

■チェロ　※楽譜は見てもよい。
(1) 音階：譜例（P.44）のとおり音階を演奏する。
・任意の速度で演奏すること。
(2) 任意の独奏曲、または練習曲１曲を演奏する。

■コントラバス　※楽譜は見てもよい。
(1) 音階：譜例（P.44）に従い、ホ長調、ヘ長調、ト長調より当日、本学が指定する音階を１つ演奏する。
・譜例のリズム型で演奏し、２オクターブ演奏すること。任意の速度で演奏すること。
(2) 任意の独奏曲、または練習曲１曲を演奏する。

■ハープ　※いずれも暗譜で演奏のこと。繰り返しはしないこと。
(1) N. Ch. Bochsa の練習曲より任意の１曲を演奏する。
・Alphonse Leduc 社出版の楽譜を用いること。
(2) 任意の独奏曲１曲を演奏する。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

打楽コース

試験科目＼試験方式※1	a	b	c	d
①専　攻　実　技	300	200	500	300
②副　科　実　技※2	—	100	—	200
③音　楽　理　論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面　　接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総　合　点	500	500	500	500

※1　試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
※2　副科実技はピアノとする。

①実技

※伴奏はなし。

■マリンバ　　※いずれも暗譜で演奏のこと。

(1) Morris Goldenberg：Modern School for Xylophone. Marimba. Vibraphone（チャペル版）Ⅰ、Ⅻ、ⅩⅢ、ⅩⅦ、ⅩⅩⅡより任意の１曲を各自が選択し、演奏する。

(2) 任意の独奏曲１曲を演奏する。

■小太鼓　　※楽譜は見てもよい。

(1) １つ打ち、２つ打ち、５つ打ち、７つ打ち、９つ打ちより、当日、本学が指定する。

(2) 任意の独奏曲または練習曲１曲を演奏する。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

邦楽コース

試験科目＼試験方式※1	a	b	c	d
①専　攻　実　技	300	200	500	300
②副　科　実　技※2	—	100	—	200
③音　楽　理　論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面　　接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総　合　点	500	500	500	500

※1　試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
※2　副科実技は専攻実技以外の任意楽器演奏とする。

①実技

■箏　　唄を伴う任意の１曲を暗譜で演奏する。

■三味線（長唄三味線）

(1) 三代目　杵屋正治郎作曲「娘道成寺」（新合方）を暗譜で演奏する。

(2) 任意の１曲を演奏する。※楽譜は見てもよい。

■尺　八　　一尺八寸管（D 管）を使用のこと。流派は問わない。※楽譜は見てもよい。

(1) 諸井誠「竹籟五章」より第一章（芬陀）を演奏する。

(2) 任意の独奏曲を２分程度演奏する。

②任意楽器演奏

任意の独奏曲１曲を演奏する。
※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。（本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。）
※楽譜は見てもよい。

声楽コース

試験科目＼試験方式※1	a	b	c	d
①専　攻　実　技	300	200	500	300
②副　科　実　技※2	—	100	—	200
③音　楽　理　論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面　　接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総　合　点	500	500	500	500

※1　試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
※2　副科実技はピアノとする。

①実技

任意の声楽曲２曲を演奏する。
※暗譜で歌うこと。
・原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。（例：歌劇「連隊の娘」をイタリア語で歌うなど）
・アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。（例：歌劇「セヴィリアの理髪師」から「今の歌声は」をヘ長調で歌うなど）
（注）**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

舞踊・演劇・ミュージカルコース

試験科目＼試験方式※1	a	b	c	d
①専　攻　実　技	300	200	500	300
②副　科　実　技※2	—	100	—	200
③音　楽　理　論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面　　接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総　合　点	500	500	500	500

※1　試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
※2　副科実技は任意楽器演奏とする。

①実技

次のいずれか１つを選び、受験すること。

■ジャズダンス　３分程度の曲を踊る。
（1）音楽（CD）は各自で用意すること。
（2）服装：レオタード、タイツ、ダンスシューズを着用のこと。

■バレエ　クラシックバレエからヴァリエーション（３分程度）を踊る。
（1）音楽（CD）は各自で用意すること。
（2）服装：レオタード、タイツ、バレエシューズを着用のこと。

■コンテンポラリィダンス（現代舞踊）
５～６分程度の自由曲を踊る。
テーマ：「私の夢」
（1）音楽（CD）は各自で用意すること。
（2）服装：レオタード、タイツを着用のこと。

■日本舞踊　当日、試験官の指示に従い、５分程度踊る。
・服装：浴衣、半巾帯、足袋を着用のこと。

■演　技　５分以内の自由演技を行う。（例：パントマイム、任意の台本等を読む、その他自由演技）
・服装：自由。

■歌　唱　３分程度の自由曲１曲を演奏する。※暗譜で歌うこと。
（歌曲、オペラまたはオラトリオのアリア、オペレッタ、ミュージカルのソロ曲、その他）
（注）**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

②任意楽器演奏

任意の独奏曲１曲を演奏すること。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。（本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。）

※楽譜は見てもよい。

作曲・音楽クリエイションコース

試験科目＼試験方式※1	a	b	c	d
①専　攻　実　技	300	200	500	300
②副　科　実　技※2	—	100	—	200
③音　楽　理　論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面　　接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総　合　点	500	500	500	500

※１　試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

※２　副科実技は「A：副科ピアノ、B：任意楽器演奏」とする。

下記のＡまたはＢより選択して受験する。

A

①実技

（1）編成の違う自作品の楽譜（コピー可）を２曲提出する。

・出願書類に同封のこと。
・提出された楽譜は返却しない。

（2）口頭試問

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

B

①実技

（1）出願時にコンピュータまたはシンセサイザー等により本人が制作した楽曲をオーディオ CD で提出する。

・出願書類に同封のこと。
・曲はオリジナル、編曲いずれでもよい。
・曲の長さは７分以内とする。
・提出作品には受験者の氏名、曲名を、編曲の場合は原曲の曲名、作曲者名も明記すること。

（2）口頭試問

②任意楽器演奏

任意の独奏曲１曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。（本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。）

※楽譜は見てもよい。

電子オルガンコース

試験科目＼試験方式※1	a	b	c	d
①専　攻　実　技	300	200	500	300
②副　科　実　技※2	—	100	—	200
③音　楽　理　論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面　　接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総　合　点	500	500	500	500

※1　試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
※2　副科実技はピアノとする。

①実技

ヤマハエレクトーン演奏グレード5級以上の楽曲、または、自作・自編の楽曲を1曲演奏する。
※暗譜で演奏のこと。

参考曲集例　新エレクトーン・レパートリー5級 Vol.1 ～ Vol.3

・試験場での使用機種は、YAMAHA ELS-02C，ELS-02X（バイタライズ），EL-900m，Roland AT-80S。
・レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないので、あらかじめ USB フラッシュメモリー、フロッピーディスクなどで用意すること。
・MDR の使用範囲は、演奏データを含まないものとする。

ヤマハ音楽能力検定制度　エレクトーン演奏グレード5級取得者は実技試験が免除されます。

※上記のグレード5級取得者は、出願時に**合格証書のコピー**（P.5の⑪参照）を同封してください。（実技試験の免除を希望する場合のみ）
※実技試験が免除された者は、特待生試験の受験対象外となります。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。
・クラシックに限る。出版されている曲のみ。

ジャズ・ポピュラーコース

試験科目＼試験方式※1	a	b	c	d
①専　攻　実　技	300	200	500	300
②副　科　実　技※2	—	100	—	200
③音　楽　理　論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面　　接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総　合　点	500	500	500	500

※1　試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
※2　副科実技は専攻実技以外の任意楽器演奏とする。

①実技

■ピアノ
■ドラム
■ベース（アコースティック・エレクトリックを問わない）
■ギター（アコースティック・エレクトリックを問わない）
■サクソフォーン（ソプラノ・アルト・テナー・バリトンを問わない）
■トランペット
■トロンボーン

下記の(1)または(2)を選択し、演奏する。

(1) 任意の1曲をマイナスワン音源を使用し演奏する。
※マイナスワン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

(2) Moritat（Bertolt Brecht / Kurt Weill）を演奏する。
※楽譜および音源は、本学に請求してください。
請求先：名古屋音楽大学　入試・広報センター（フリーダイヤル0120-115-796）

■ヴォーカル

任意の1曲を演奏する。

(1) 演奏形態は次から選び、曲目記入欄に記すこと。【マイナスワン音源（CD）、アカペラ、弾き歌い】
(2) マイナスワン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

②任意楽器演奏

任意の独奏曲1曲を演奏する。
※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。（本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。）楽譜は見てもよい。

音楽教育コース

試験科目＼試験方式※1	a	b	c	d
①実　　技※2	300	200	500	300
②副　科　実　技※3	—	100	—	200
③音　楽　理　論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面　　接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総　合　点	500	500	500	500

※1　試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
※2　実技は任意楽器演奏（声楽含む）とする。ただしb、dの実技はピアノ以外とする。
※3　副科実技はピアノとする。

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。
・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。
・伴奏者同伴の必要はなし。
・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

音楽療法コース

試験科目＼試験方式※1	a	b	c	d
①実　　技※2	300	200	500	300
②副　科　実　技※3	—	100	—	200
③音　楽　理　論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面　　接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総　合　点	500	500	500	500

※1　試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
※2　実技は任意楽器演奏（声楽含む）とする。ただしb、dの実技はピアノ以外とする。
※3　副科実技はピアノとする。

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。
・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。
・伴奏者同伴の必要はなし。
・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

音楽総合コース

試験科目＼試験方式※1	a	b	c	d
①実　　技※2	300	200	500	300
②副　科　実　技※3	—	100	—	200
③音　楽　理　論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面　　接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総　合　点	500	500	500	500

※1　試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
※2　実技は任意楽器演奏（声楽含む）とする。ただしb、dの実技はピアノ以外とする。
※3　副科実技はピアノとする。

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。
・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。
・伴奏者同伴の必要はなし。
・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

音楽ビジネスコース

試験科目＼試験方式※1	a	b	c	d
①作　　文	300	200	500	300
②副　科　実　技※2	—	100	—	200
③音　楽　理　論	100	100	—	—
④ソルフェージュ	100	100	—	—
⑤面　　接	—	—	A・B・C評価	A・B・C評価
総　合　点	500	500	500	500

※1　試験方式を受験者が選択し、出願してください。
試験方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
※2　副科実技は任意楽器演奏とする。

①作文

800字程度（P.51例題参照）。
試験時間は90分。

②任意楽器演奏

任意の独奏曲１曲を演奏する。
※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。（本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。）
※楽譜は見てもよい。

一般

特待生選抜型実技入学試験要項

特待生選抜型実技入学試験では、１回の実技試験により「合否判定」及び「特待生の選抜」を行います。

◆対象コース

ピアノ、管楽、弦楽、打楽、邦楽、声楽、舞踊・演劇・ミュージカル、電子オルガン、ジャズ・ポピュラーの各コース。

◆内容

１回の実技試験により、「合否判定」及び「特待生の選抜」を行います。

◆出願資格

以下(1)～(3)の何れかの条件に当てはまり、かつ(4)の条件を満たす者。

(1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者、及び2019年３月卒業見込みの者。

(2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者、及び2019年３月修了見込みの者。

(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校または中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2019年３月31日までにこれに該当する見込みの者。

(4) 音楽科（コース等を含む）高等学校卒業（見込み）の者。
もしくは、本学音楽講習会で「認定テスト（ソルフェージュ及び音楽理論）」の認定を受けている者。

◆特待内容

１年次の授業料の全額、もしくは半額を奨学金として支給します。
また、入学時特待生試験の中で特に優れていると認められた受験者に『４年間継続特待生試験』の受験資格を認めます。
詳しくは、P.43をご覧ください。

◆検定料　35,000円

銀行振込のみ。本学所定振込用紙を使用し、取扱銀行窓口で収納印欄に押印してもらった上で、入学試験志願票の指定の欄に貼付してください。一旦納入された検定料は、いかなる理由においても返還いたしません。

◆出願期間・試験日・合格発表

Ⅰ期	出願期間	2019年１月４日(金)～１月15日(火)	※郵送のみ・消印有効
	試 験 日	2019年２月１日(金)	
	合格発表	2019年２月５日(火)	本人宛発送
Ⅱ期	出願期間	2019年１月17日(木)～２月12日(火)	※郵送のみ・消印有効
	試 験 日	2019年２月20日(水)	
	合格発表	2019年２月22日(金)	本人宛発送

◆試験科目

実技試験。

◆「特待生選抜型実技入学試験課題」請求先

希望される方は下記までお申込みください。
なお、ホームページでも受付を行っております。（８月下旬以降受付）

〒453-8540　名古屋市中村区稲葉地町７－１　名古屋音楽大学　入試・広報センター
フリーダイヤル　0120-115-796　　ホームページ　http://www.meion.ac.jp

実技試験の課題曲の発表及び発送は11月下旬以降の予定となっております。

●「特待生選抜型実技入学試験」は、「特待生試験」とは別に実施するものです。

●「特待生試験」は従来どおり実施します。
「特待生試験」の受験資格は、AO 入学試験、推薦入学試験（公募、指定校）、一般入学試験の合格者のうち本学が指定する者及び、特待生選抜型実技入学試験を受験し合格した者に与えられます。

◆特待生試験の受験機会について

①特待生選抜型実技入学試験（Ⅰ期）を受験し、特待生に選抜されなかった場合、その合否に関わらず、特待生選抜型実技入学試験（Ⅱ期）を受験することができます。その際の検定料は10,000円が別途必要です。

②特待生選抜型実技入学試験（Ⅰ期）に合格し、特待生に選抜されなかった場合、学納金（入学金）を納入し、かつ検定料5,000円を納入することにより、特待生試験（第１次・第２次）を受験することができます。

③特待生選抜型実技入学試験（Ⅱ期）に合格し、特待生に選抜されなかった場合、学納金（入学金）を納入し、かつ検定料5,000円を納入することにより、特待生試験（第２次）を受験することができます。

◆伴奏について

声楽コース、舞踊・演劇・ミュージカルコース（歌唱）を受験する者はピアノ伴奏譜を提出のこと。
伴奏者は本学が用意します。伴奏者同伴の必要はありません。

管楽コースを受験する者で、伴奏者を希望する場合はピアノ伴奏譜を提出のこと。ピアノ伴奏譜の同封があった者には、本学が用意する伴奏者による伴奏がつけられます。それ以外はすべて伴奏なしとします。

◆注意事項

特待生に採用された場合には、入学後（６月下旬頃）、本学より免除相当額を指定口座に振込みます。

二次入学試験要項

二次入試は、本学で行う一番日程の遅い入学試験です。入学時特待生試験等のノミネート等はありません。

◆出願資格

(1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者、及び2019年３月卒業見込みの者。
(2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者、及び2019年３月修了見込みの者。
(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2019年３月31日までにこれに該当する見込みの者。

◆出願期間・試験日・合格発表

出願期間	2019年３月４日(月)～３月22日(金)　郵送のみ・必着〔３月24日(日)10:00～16:00のみ窓口受付〕
試験日	2019年３月25日(月)　※試験のスケジュールについては３月24日(日)の夕方までに電話連絡いたします。
合格発表	2019年３月25日(月)　本人宛発送

◆試験科目内容

コース	試験科目						掲載ページ
	実技	作文	副科Ｐ	面接	音楽理論	ソルフェージュ	
ピアノ演奏家	●			●	●	●	P.37
ピアノ	●			●			
管楽	●			●			
弦楽	●			●			
打楽	●			●			
邦楽	●			●			P.38
声楽	●			●			
舞踊・演劇・ミュージカル	●			●			
作曲・音楽クリエイション	●			●			P.39
電子オルガン	●		●	●			
ジャズ・ポピュラー	●			●			P.40
音楽教育	●			●			
音楽療法	●			●			
音楽総合	●			●			P.41
音楽ビジネス		●		●			

◆コースの志望について（ピアノ演奏家コースのみ）

ピアノ演奏家コースを受験される方の第２志望は、自動的にピアノコースとなります。

各コース別 二次入学試験 実技試験課題

すべての実技試験において演奏を途中で切る場合があります。

ピアノ演奏家コース

①実技

※ A、B、C 全てを暗譜で演奏する。曲順は自由。

A　F. Chopin：Etudes op.10, op.25より任意の 2 曲。
B　古典派のソナタ（複数楽章も可）
C　自由曲（古典派以外の作品、ショパンのエチュードは含まない）
※ B、C の合計時間が14分以上であること。

②音楽理論※

③ソルフェージュ※

※ P.24 選考方法参照

④面接

ピアノコース

①実技

任意のピアノ独奏曲 1 曲を演奏する。
※暗譜で演奏のこと。繰り返しはしないこと。

②面接

管楽コース

①実技

任意の独奏曲または練習曲 1 曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。伴奏はなし。

②面接

弦楽コース

①実技

専攻楽器による任意の独奏曲 1 曲を演奏する。ヴァイオリンのみ下記の曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。伴奏はなし。

■ヴァイオリン　※いずれも暗譜で演奏のこと。

(1) C. Flesh：Scale System より C dur No.5を冒頭から 9 小節まで演奏する。
・テンポ♩＝69前後で演奏すること。
・ボウイングとフィンガリングは譜面どおり。
・Carl Fischer 版もしくは Ries & Erler / Berlin 版を使用すること。

(2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。
・エチュード、自作曲は除く。

②面接

打楽コース

①実技

■マリンバ　任意の独奏曲 1 曲を演奏する。　※暗譜で演奏のこと。
■小太鼓　任意の独奏曲 1 曲を演奏する。　※楽譜は見てもよい。

②面接

邦楽コース

①実技

※暗譜で演奏のこと。（尺八に限り楽譜は見てもよい。）

■箏　　唄を伴う任意の１曲を演奏する。

■三味線（長唄三味線）
　　任意の１曲を演奏する。

■尺八　　任意の１曲を演奏する。

②面接

声楽コース

①実技

任意の声楽曲２曲を演奏する。

※暗譜で歌うこと。

(1) 原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。（例：歌劇「連隊の娘」をイタリア語で歌うなど）

(2) アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。（例：歌劇「セヴィリアの理髪師」から「今の歌声は」をヘ長調で歌うなど）

（注）**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

②面接

舞踊・演劇・ミュージカルコース

①実技

次のいずれか１つを選び、受験すること。

■ジャズダンス　３分程度の曲を踊る。
　(1) 音楽（CD）は各自で用意すること。
　(2) 服装：レオタード、タイツ、ダンスシューズを着用のこと。

■バレエ　　クラシックバレエからヴァリエーション（３分程度）を踊る。
　(1) 音楽（CD）は各自で用意すること。
　(2) 服装：レオタード、タイツ、バレエシューズを着用のこと。

■コンテンポラリィダンス（現代舞踊）
　５～６分程度の自由曲を踊る。
　テーマ：「私の夢」
　(1) 音楽（CD）は各自で用意すること。
　(2) 服装：レオタード、タイツを着用のこと。

■日本舞踊　　当日、試験官の指示に従い、５分程度踊る。
　・服装：浴衣、半巾帯、足袋を着用のこと。

■演　技　　５分以内の自由演技を行う。（例：パントマイム、任意の台本等を読む、その他自由演技）
　・服装：自由。

■歌　唱　　３分程度の自由曲１曲を演奏する。※暗譜で歌うこと。
　（歌曲、オペラやオラトリオのアリア、オペレッタ、ミュージカルのソロ曲、その他）
　（注）**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

②面接

作曲・音楽クリエイションコース

下記のＡまたはＢより選択して受験する。

A

①実技

（1）編成の違う自作品の楽譜（コピー可）を２曲提出する。
・出願書類に同封のこと。
・提出された楽譜は返却しない。
（2）口頭試問

②面接

B

①実技

（1）出願時にコンピュータまたはシンセサイザー等により本人が制作した楽曲をオーディオ CD で提出する。
・出願書類に同封のこと。
・曲はオリジナル、編曲いずれでもよい。
・曲の長さは７分以内とする。
・提出作品には受験者の氏名、曲名を、編曲の場合は原曲の曲名、作曲者名も明記すること。
（2）口頭試問

②面接

電子オルガンコース

①実技

ヤマハエレクトーン演奏グレード５級以上の楽曲、または、自作・自編の楽曲を１曲演奏する。
※暗譜で演奏のこと。

参考曲集例　新エレクトーン・レパートリー５級 Vol.1 ～ Vol.3

・試験場での使用機種は、YAMAHA ELS-02C，ELS-02X（バイタライズ），EL-900m，Roland AT-80S。
・レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないので、あらかじめ USB フラッシュメモリー、フロッピーディスクなどで用意すること。
・MDR の使用範囲は、演奏データを含まないものとする。

ヤマハ音楽能力検定制度　エレクトーン演奏グレード５級取得者は実技試験が免除されます。

※上記のグレード５級取得者は、出願時に**合格証書のコピー**（P.5の⑪参照）を同封してください。（実技試験の免除を希望する場合のみ）

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。
・クラシックに限る。出版されている曲のみ。

③面接

ジャズ・ポピュラーコース

①実技

■ピアノ
■ドラム
■ベース（アコースティック・エレクトリックを問わない）
■ギター（アコースティック・エレクトリックを問わない）
■サクソフォーン（ソプラノ・アルト・テナー・バリトンを問わない）
■トランペット
■トロンボーン

下記の(1)または(2)を選択し、演奏する。

(1) 任意の1曲を、演奏する。

・マイナスワン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

(2) Moritat（Bertolt Brecht / Kurt Weill）を演奏する。

※楽譜および音源は、本学に請求してください。
請求先：名古屋音楽大学　入試・広報センター（フリーダイヤル0120-115-796）

■ヴォーカル

任意の1曲をマイナスワン音源を使用し演奏する。

・演奏形態は次から選び、曲目記入欄に記すこと。【マイナスワン音源（CD）、アカペラ、弾き歌い】
・マイナスワン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

②面接

音楽教育コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。
・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。
・伴奏者同伴の必要はなし。
・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②面接

音楽療法コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。
・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。
・伴奏者同伴の必要はなし。
・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②面接

音楽総合コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲１曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。
・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.5の⑨参照）を願書に添えて提出すること。
・伴奏者同伴の必要はなし。
・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②面接

音楽ビジネスコース

①作文

800字程度（P.51例題参照）。
試験時間は90分。

②面接

特待生試験要項

◆対象コース
全コース

◆受験対象者
第１次特待生試験対象者：指定校推薦入試、公募推薦入試、AO 入試（１～５回目）、一般入試（A 日程）の全合格者のうち、本学が選出する者。特待生選抜型実技入試（Ⅰ期）を受験し合格した者。

第２次特待生試験対象者：指定校推薦入試、公募推薦入試、AO 入試（１～６回目）、一般入試（A 日程・B 日程）の全合格者のうち、本学が選出する者。特待生選抜型実技入試（Ⅰ期・Ⅱ期）を受験し合格した者。

※一般入試及び特待生選抜型実技入試の合格者は入学手続きの一次納入金（入学金）を納付済みであること。

※電子オルガンコースで実技試験が免除された者は、特待生試験の受験対象外となります。

◆特待内容
特待生試験の結果に基づき、１年次の授業料の全額、もしくは半額を奨学金として支給します。

また、入学時特待生試験の中で特に優れていると認められた受験者に『４年間継続特待生試験』の受験資格を認めます。

詳しくは P.43をご覧ください。

◆出願期間・試験日・結果発表

第１次特待生試験	申込期間	2019年２月４日（月）～２月12日（火）	※郵送のみ・消印有効
	試験日	2019年２月20日（水）	
	結果発表	2019年２月22日（金）	本人宛発送
第２次特待生試験	申込期間	2019年２月25日（月）～３月４日（月）	※郵送のみ・消印有効
	試験日	2019年３月13日（水）	
	結果発表	2019年３月15日（金）	本人宛発送

※第１次特待生試験を受験し、特待生候補に該当しなかった場合は、第２次特待生試験を受験することができます。
検定料は別途必要です。

◆試験科目
実技試験（オーディション形式）または、小論文。

◆検定料　5,000円
銀行振込のみ。本学所定振込用紙を使用し、取扱銀行窓口で収納印欄に押印したものを、特待生試験申込書の指定の欄に貼付してください。一旦納入された検定料は、いかなる理由においても返還いたしません。

◆「特待生試験課題曲」請求先
希望される方は下記までお申し込みください。

なお、ホームページでも受付を行っております。（８月下旬以降受付）

〒453-8540　名古屋市中村区稲葉地町７－１　名古屋音楽大学　入試・広報センター
フリーダイヤル　0120-115-796　ホームページ http://www.meion.ac.jp

実技試験の課題曲の発表及び「特待生試験申込書」の発送は11月下旬以降の予定となっております。

◆注意事項
①入学試験時の受験票は、特待生試験受験時に必要です。必ず大切に保管してください。

②合格者のうち本学が選出した者には、合格通知後、「特待生試験申込書」を送付しますので受験を希望される方は、必ず期日までに「特待生試験申込書」を提出してください。

③特待生試験の受験を希望する方は別途検定料5,000円が必要となります。

④特待生試験を受験する場合でも、学納金（入学金および授業料等）は、入試要項に記載された期日までに納入してください。納入がない場合には、入学取り消しとなりますので注意してください。特待生に採用された場合には、後日（６月下旬頃）、本学より免除相当額を指定口座に振込みます。

4年間継続特待生試験要項

◆対象コース

ピアノ演奏家、ピアノ、管楽、弦楽、打楽、邦楽、声楽、舞踊・演劇・ミュージカル、電子オルガン、ジャズ・ポピュラーの各コース。

◆受験対象者

特待生選抜型実技入試（Ⅰ期・Ⅱ期）、第１次特待生試験全合格者のうち、本学が選出する者。

※第２次特待生試験のみ受験する者は対象外。

◆特待内容

４年間継続特待生試験の結果に基づき、４年間の授業料の全額を奨学金として支給します。

ただし、在学中の成績で以下の３つをすべて満たした場合は特待生資格が停止されます。

１）実技試験の素点が80点未満

２）実技試験の順位が上位10％外（各コースにおいて）

３）GPA※のポイントが3.0％未満

※ GPA（Grade Point Average）とは、各科目の成績から特定の方式によって算出された成績評価方式です。

◆出願期間・試験日・結果発表

申込期間	2019年２月25日（月）～３月４日（月）	※郵送のみ・消印有効
試 験 日	2019年３月13日（水）	
結果発表	2019年３月15日（金）	本人宛発送

◆試験科目

実技試験（オーディション形式）、面接。

◆検定料　無料

◆「4年間継続特待生試験課題曲」請求先

希望される方は下記までお申し込みください。

なお、ホームページでも受付を行っております。（８月下旬以降受付）

〒453-8540　名古屋市中村区稲葉地町７－１　名古屋音楽大学　入試・広報センター
フリーダイヤル　0120-115-796　　ホームページ http://www.meion.ac.jp

実技試験の課題曲の発表及び「４年間継続特待生試験申込書」の発送は８月下旬以降の予定となっております。

◆注意事項

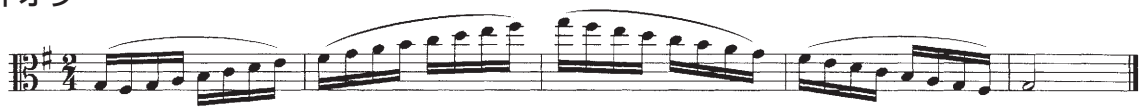
①入学試験時の受験票は、４年間継続特待生試験受験時に必要です。必ず大切に保管してください。

②合格者のうち本学が選出した者には、合格通知後、「４年間継続特待生試験申込書」を送付しますので受験を希望される方は、必ず期日までに「４年間継続特待生試験申込書」を提出してください。

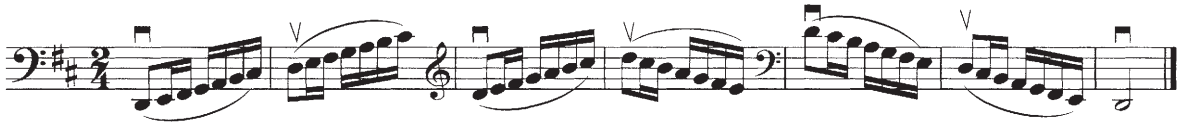
③特待生試験を受験する場合でも、学納金（入学金および授業料等）は、入試要項に記載された期日までに納入してください。納入がない場合には、入学取り消しとなりますので注意してください。特待生に採用された場合には、後日（６月下旬頃）、本学より免除相当額を指定口座に振込みます。

譜 例

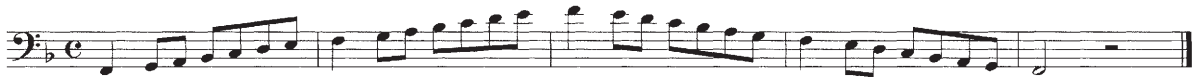
■ヴィオラ



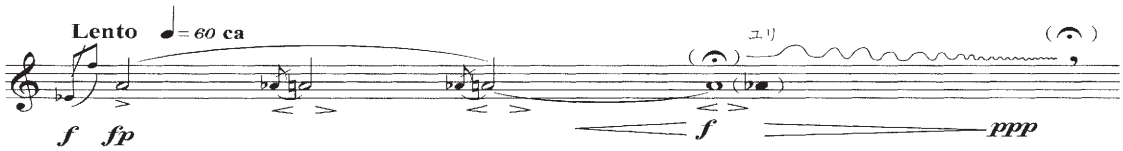
■チェロ



■コントラバス

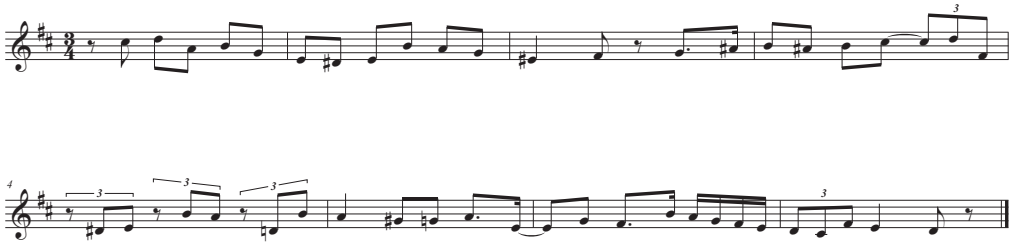


■尺八



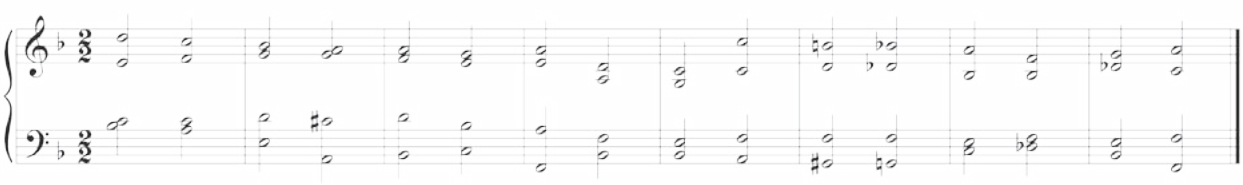
例 題　［ピアノ演奏家コース］

新曲視唱

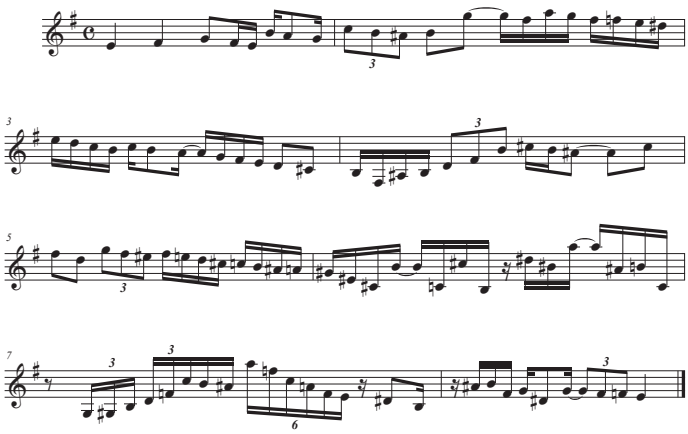


聴音書取

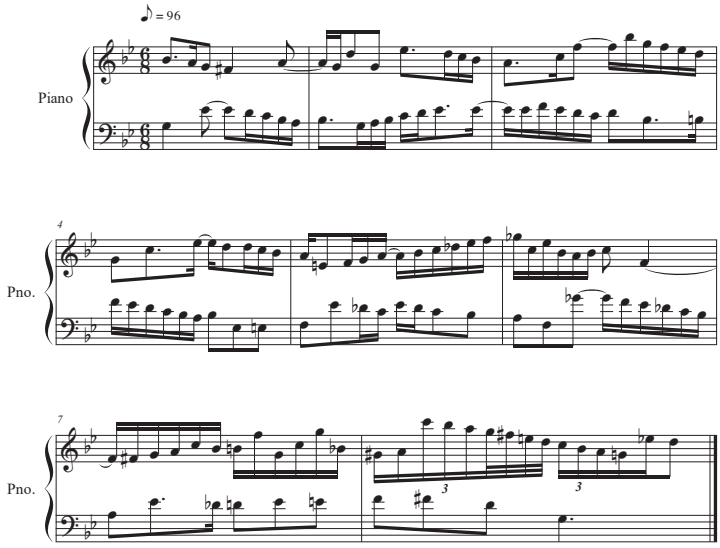
1．四声体　F-dur



2．単旋律　e-moll



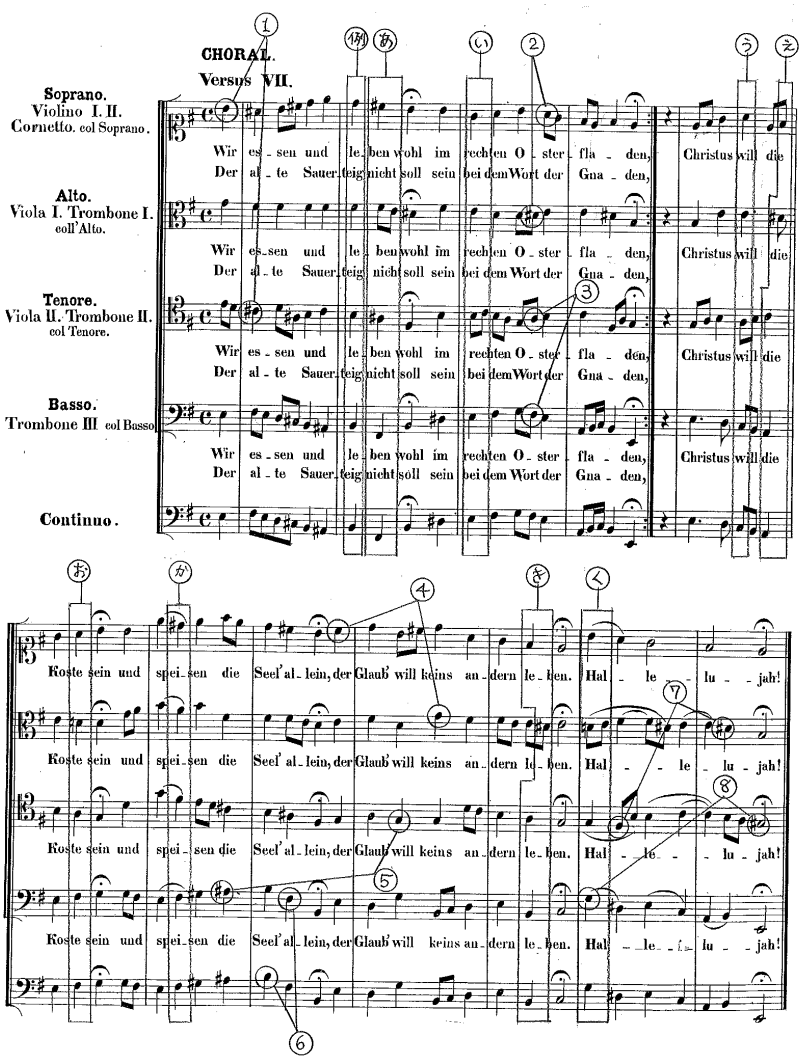
3．二声旋律　g-moll



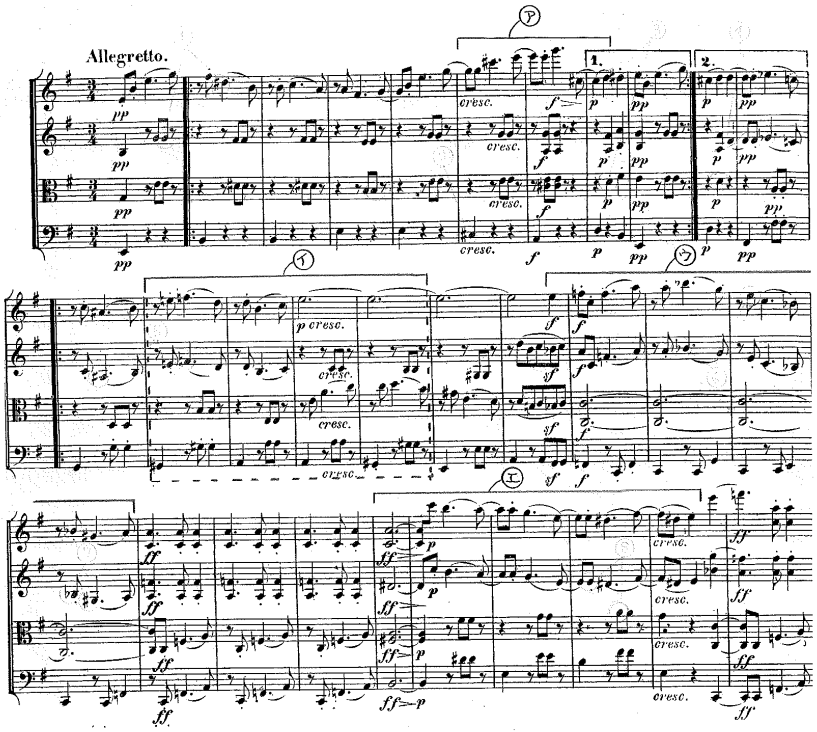
例 題 ［ピアノ演奏家コース］

音楽理論

譜例 I



譜例 II



例 題 ［ピアノ演奏家コース］

音楽理論

譜例Ⅰ は J.S.Bach のカンタータ第4番のコラールである。1. ～ 3. の問いに答えなさい。

1. 譜例の①～⑧の音程を答えなさい。

① ＿＿＿＿ ② ＿＿＿＿ ③ ＿＿＿＿ ④ ＿＿＿＿

⑤ ＿＿＿＿ ⑥ ＿＿＿＿ ⑦ ＿＿＿＿ ⑧ ＿＿＿＿

2. 譜例の㋐～㋗の和音の種類を例にならって答えなさい。

例 短三和音

㋐ ＿＿＿＿ ㋑ ＿＿＿＿ ㋒ ＿＿＿＿ ㋓ ＿＿＿＿

㋔ ＿＿＿＿ ㋕ ＿＿＿＿ ㋖ ＿＿＿＿ ㋗ ＿＿＿＿

3. ①2. で問うた㋐の和音を含む短調の下属調の旋律短音階をソプラノ譜表上に臨時記号を用いて書きなさい。

②㋔の和音を属和音とする長調の同主調の音階をアルト譜表上に調号を用いて書きなさい。なお短調は和声短音階とする。

③㋕の和音をⅡ度の和音に持つ和声短音階の同主調の異名同音階を、臨時記号を用いてテノール譜表上に書きなさい。

④㋗の和音をⅥ度の7の和音に持つ調の平行調の属調の音階を、調号を用いてバス譜表上に書きなさい。なお短調は旋律短音階とする。

譜例Ⅱ は L.V.Beethoven の弦楽四重奏曲 第8番 作品59の2である。
4. ～ 5. の問いに答えなさい。

4. ㋐ ～ ㋓ の部分の調を答えなさい。

㋐ ＿＿＿＿ ㋑ ＿＿＿＿ ㋒ ＿＿＿＿ ㋓ ＿＿＿＿

5. ㋑の部分を長3度下に、調号を用いずに大譜表上に移調しなさい。

6. 次の空欄 ア ～ ナ のを埋めて表を完成させなさい。

ten.	tenuto	テヌート	その音の長さを十分に保って
ア	ritardando	イ	ウ
エ	pianissimo	オ	カ
キ	ク	ケ	強く直ちに弱く
コ	サ	スフォルツァンド	シ
cresc.	ス	セ	ソ
タ	チ	ディミヌエンド	ツ
marc.	テ	ト	ナ

ア＿＿＿＿ イ＿＿＿＿ ウ＿＿＿＿ エ＿＿＿＿ オ＿＿＿＿ カ＿＿＿＿

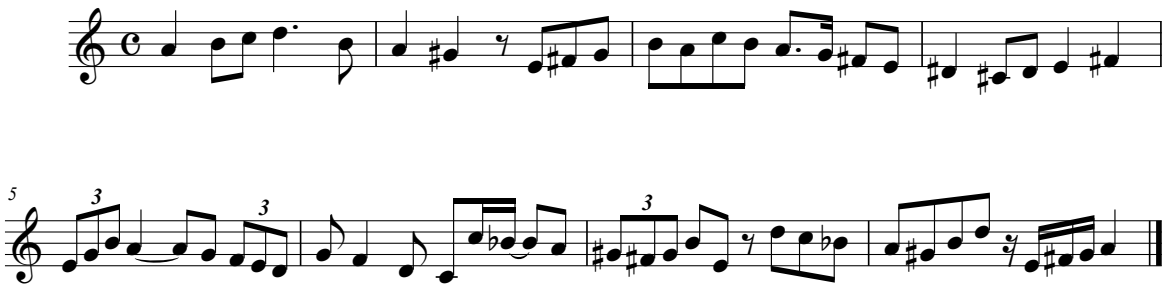
キ＿＿＿＿ ク＿＿＿＿ ケ＿＿＿＿ コ＿＿＿＿ サ＿＿＿＿ シ＿＿＿＿

ス＿＿＿＿ セ＿＿＿＿ ソ＿＿＿＿ タ＿＿＿＿ チ＿＿＿＿ ツ＿＿＿＿

テ＿＿＿＿ ト＿＿＿＿ ナ＿＿＿＿

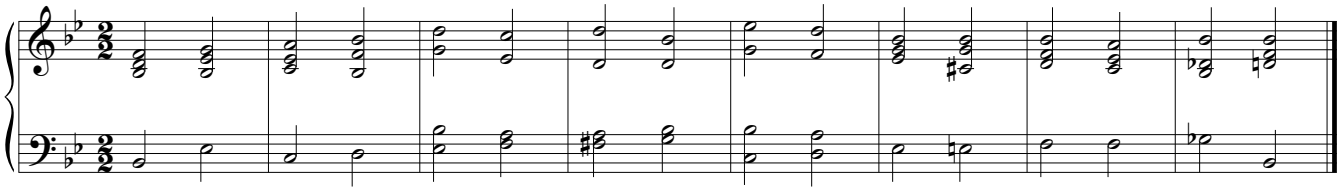
例 題　［一般入試］

新曲視唱

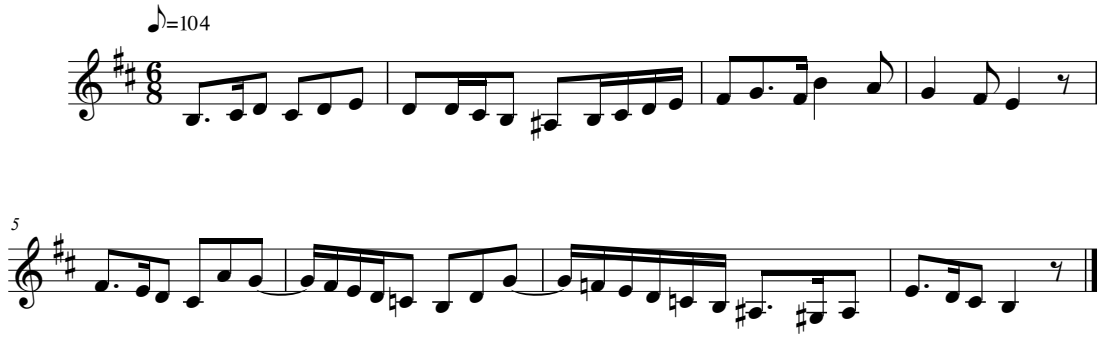


聴音書取

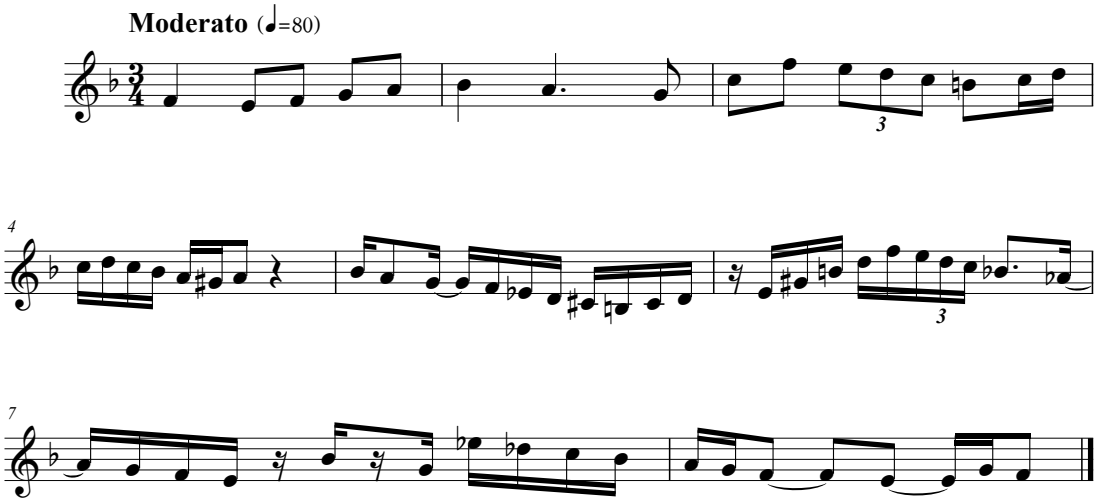
1．和声　B-dur 2/2



2．旋律　h-moll 6/8



3．旋律　F-dur 3/4



例 題 ［一般入試］

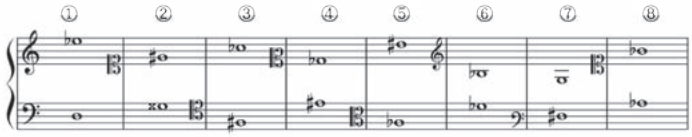
音楽理論

1. 次の ① ～ ④ の音程を答えなさい。

① _____ ②_____ ③_____ ④_____

2. ⑤ ～ ⑧ の転回音程を答えなさい。

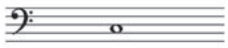
⑤ _____ ⑥_____ ⑦_____ ⑧_____



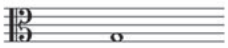
3. 次の①～⑤の音符上に、それぞれ指示した和音を書きなさい。

① 短3和音（基本形）

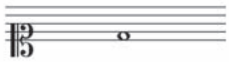
② 増3和音（基本形）



③ 長3和音（第1転回形）



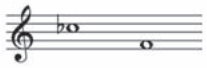
④ 属7の和音（第 3 転回形）



⑤ 減7の和音（基本形）

4. 次の音を音階中に含む長音階、短音階を全て答えなさい。ただし、短音階は自然短音階を（自）、和声短音階を（和）、旋律短音階上行形を（旋）とすること。

①

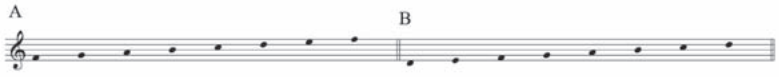


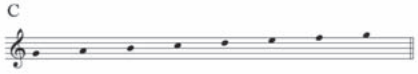
（　　）

②

（　　）

5. 次の A～C は教会旋法である。それぞれの名称を答えなさい。



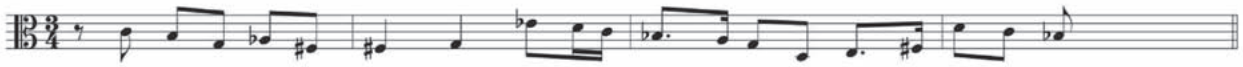


A _____ B _____ C _____

例 題 ［一般入試］

6. 次の A～C のフレーズが何調であるか答えなさい。

A



B

C

A＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　B＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　C＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

7. 次の ① ～ ⑤の楽語群の中で、付記の意味に適するものの記号を答えなさい。

①
(a) sotto voce
(b) mezza voce　　声をひそめて　小声で　＿＿＿＿＿＿＿＿
(c) vocalise

②
(a) L'istesso tempo
(b) tempo guisto　　同じ速さで　＿＿＿＿＿＿＿＿
(c) ad libitum

③
(a) alla polacca
(b) alla breve　　ドイツ風に　＿＿＿＿＿＿＿＿
(c) alla tedesca

④
(a) con moto
(b) con sentiment　　弱音器をつけて　＿＿＿＿＿＿＿＿
(c) con sordino

⑤
(a) agitato
(b) stringendo　　激した　興奮した　＿＿＿＿＿＿＿＿
(c) stretto

例 題

作文・小論文課題

【音楽教育】

下記の２つの課題から１つを選び、論述しなさい。

1. あなたが好ましいと思う、中学校音楽科の授業のイメージについてなるべく具体的に述べなさい。
2. 音楽の授業に用いる楽器として望ましいものを、リコーダー以外に一つ推薦し、その理由を述べなさい。

【音楽療法】

音楽療法は、発達障がいのある方（ダウン症、自閉症、脳性まひなど）、精神科領域のニーズのある方（統合失調症、うつ病、不安症など）、高齢者（認知症、パーキンソン病など）、人生の終末期にある方（末期ガンなど）、様々なニーズのある人が対象になります。あなたは将来的にどの様な対象者と音楽を通して関わってみたいですか？それはどうしてですか？またその時に音楽がどのように作用すると思いますか？それらの対象者と音楽療法をする上で、どのような学びを名古屋音楽大学でしたいですか？

【音楽ビジネス】

あなたの企画でイベント（コンサート）を行うことが決まったとして、お客様を集めるためにどんな広報活動をしますか。

（例）

・チラシ、ポスターなどの印刷物
・新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのメディア使用
・SNS、Twitter、HP などのネットコミュニケーションツール使用

この例を参考にしてください。なお、ここにないものを挙げても構いません。

音楽講習会及び認定テストのご案内

夏 期	実 施 期 間：8月3日(金)～8月5日(日) 認 定 テ ス ト： 専攻実技模擬試験：8月5日(日) 申 込 期 間：6月1日(金)～7月13日(金)
冬 期	実 施 期 間：12月22日(土)～12月24日(月) 認 定 テ ス ト： 専攻実技模擬試験：12月24日(月) 申 込 期 間：11月1日(木)～12月3日(月)

「音楽講習会」について

本学入学希望者および受験生のための音楽講習会を開催いたします。この講習会では、クラス編成で音楽理論とソルフェージュのポイントなど理解しやすい学習方法を徹底指導します。実技レッスンでは演奏法、練習法などを指導し、受験相談にも応じます。
この講習会に参加することによって、今後の展開を確認し、2019年度入試受験者については、目前の入試に備えてください。

●認定テストについて

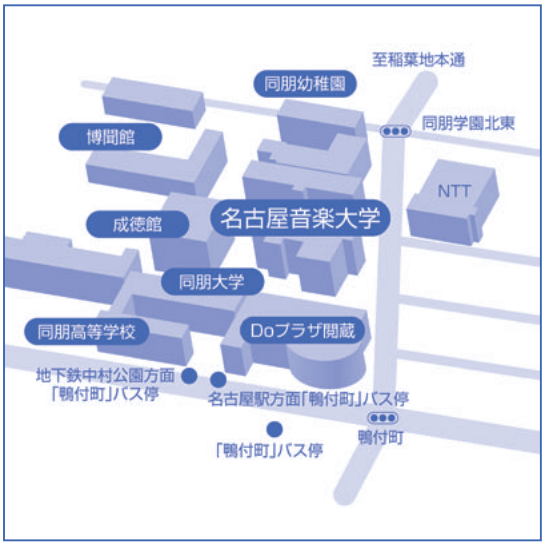
本学への受験を希望する方を対象に、音楽理論、ソルフェージュ（新曲視唱・聴音書取）について、学習到達度を調べるためのテストです。所定の成績を修めた科目については、認定書が交付され、本学の入学試験の際に、当該科目の点数として使用することができます。詳しくはP.24をご参照ください。

●専攻実技模擬試験について

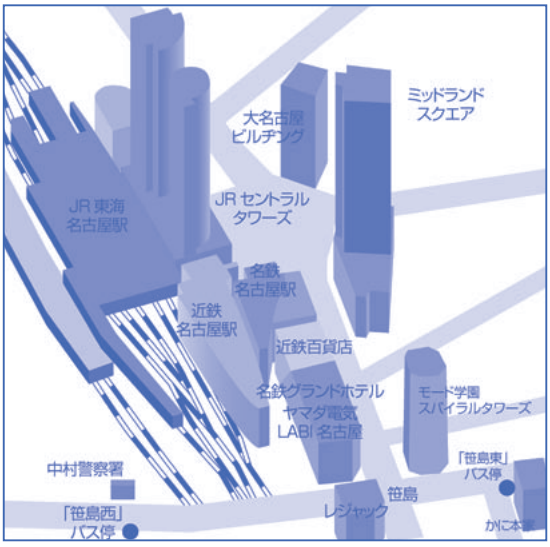
本学教員が採点し、入学試験の本番さながらの雰囲気で行います。受験生は入学試験の課題に準じた曲で模擬試験を受験します。受験生の演奏を採点し、その判定を「講評」と共に受験生宛てに送付します。対象はピアノ演奏家コース、ピアノコース、声楽コースの3コースです。判定については、S, A, B, C, D の5段階で、S 判定（95～100点）の場合は、特典として“2019年度入学試験の検定料が半額免除”になります。

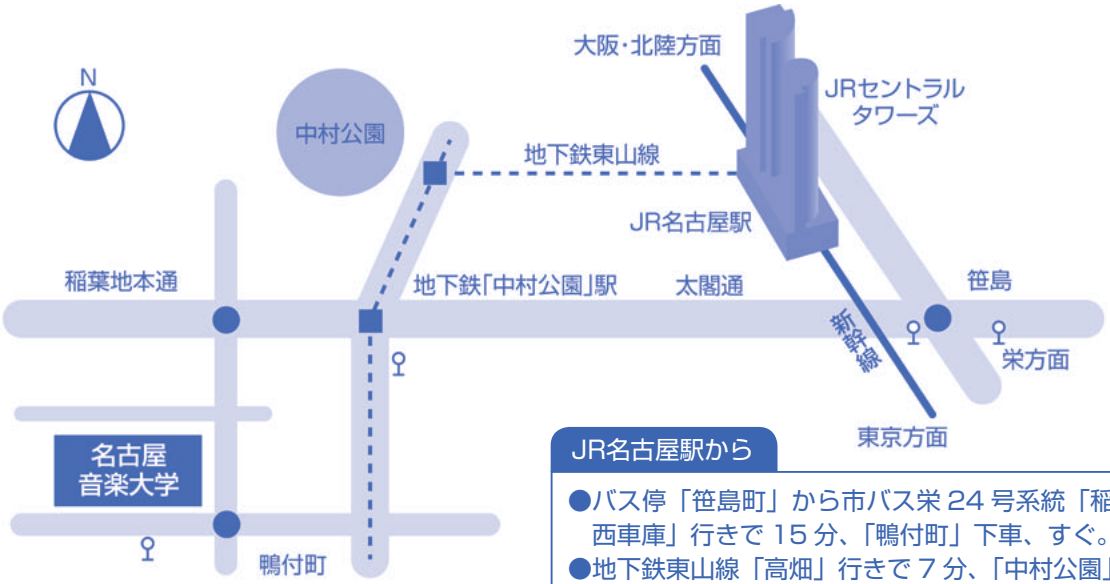
交通案内

大学周辺図



名古屋駅周辺図





JR名古屋駅から

- バス停「笹島町」から市バス栄 24 号系統「稲西車庫」行きで 15 分、「鴨付町」下車、すぐ。
- 地下鉄東山線「高畑」行きで 7 分、「中村公園」下車、中村公園バスターミナル(1 番のりば)から市バス中村 13 号系統「稲西車庫」行きで 5 分、「鴨付町」下車、すぐ。

学校法人　同朋学園
名古屋音楽大学 音楽学部／大学院
〒453-8540　名古屋市中村区稲葉地町 7-1　TEL 052-411-1545（入試・広報センター直通）
http://www.meion.ac.jp